

(様式第10)

口大医総第250号

令和 7年 10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人山口大学
学長 谷澤幸生

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
電話(0836) 22 - 2013

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11リウマチ科
診療実績							
神経内科については、脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	形成外科	3	臨床検査科	4	病理診断科	5	リハビリテーション科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
----	-----	----	----	----	----

41	0	0	0	713	754	(単位:床)
----	---	---	---	-----	-----	--------

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	237	254	403	看護補助者	40	診療エックス線技師	0	
歯科医師	5	16	17.4	理学療法士	22	臨床検査 臨床検査技師	71	
薬剤師	56	0	56	作業療法士	12		衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	7		その他	0
助産師	32	0	32	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	797	31	816.7	臨床工学士	20	医療社会事業従事者	8	
准看護師	0	0	0	栄養士	17	その他の技術員	27	
歯科衛生士	3	0	3	歯科技工士	1	事務職員	266	
管理栄養士	16	0	16	診療放射線技師	44	その他の職員	61	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	38	眼科専門医	7
外科専門医	29	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	7	放射線科専門医	5
小児科専門医	18	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	12
泌尿器科専門医	6	麻酔科専門医	17
産婦人科専門医	10	救急科専門医	7
		合計	179

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松永 和人) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員(平成28年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	628.6 人	15.2 人	643.8 人
1日当たり平均外来患者数	1174.5 人	48.4 人	1222.9 人
1日当たり平均調剤数		2390	剤

必要医師数	133	人
必要歯科医師数	5	人
必要薬剤師数	21	人
必要(准)看護師数	355	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	419 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	病床数	16 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 301 m ² [移動式の場合] 台数 23 台		病床数	23 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 30.57 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	510.1 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	生化学的検査、血液学的検査、免疫学的検査、一般検査、遺伝子検査を含む		
細菌検査室	100.6 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置、P3検査室		
病理検査室	373 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	局所排気装置、安全キャビネット、自動包埋装置		
病理解剖室	477 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器		
研究室	25328 m ²		(主な設備)			
講義室	2439 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	室数	12 室	収容定員	1642 人
図書室	2177 m ²		室数	48 室	蔵書数	163074 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.0	%	逆紹介率	93.3	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		12372		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13358		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1230		人
	D: 初診の患者の数		14303		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

矢賀 健	山陽小野田市民病院	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
佐藤 久典	宇部・山陽小野田総合法律事務所		法律に関する識見を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	UBE株式会社		医療を受ける者の代表者	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
山口大学ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	172	低ホスファターゼ症	0
2	筋萎縮性側索硬化症	25	173	VATER症候群	1
3	脊髄性筋萎縮症	5	174	那須・ハコラ病	0
4	原発性側索硬化症	0	175	ウィーバー症候群	0
5	進行性核上性麻痺	8	176	コフィン・ローリー症候群	0
6	パーキンソン病	98	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
7	大脳皮質基底核変性症	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
8	ハンチントン病	0	179	ウィリアムズ症候群	0
9	神経有棘赤血球症	0	180	ATR-X症候群	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	7	181	クルーゾン症候群	0
11	重症筋無力症	57	182	アペール症候群	0
12	先天性筋無力症候群	0	183	ファイファー症候群	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	103	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	43	185	コフィン・シリズ症候群	0
15	封入体筋炎	2	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
16	クロウ・深瀬症候群	1	187	歌舞伎症候群	0
17	多系統萎縮症	7	188	多脾症候群	1
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	20	189	無脾症候群	2
19	ライソゾーム病	3	190	鰓耳腎症候群	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	191	ウェルナー症候群	0
21	ミトコンドリア病	4	192	コケイン症候群	0
22	もやもや病	31	193	プラダー・ウィリ症候群	0
23	プリオン病	0	194	ソス症候群	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	195	ヌーナン症候群	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	197	1p36欠失症候群	0
27	特発性基底核石灰化症	0	198	4p欠失症候群	0
28	全身性アミロイドーシス	57	199	5p欠失症候群	0
29	ウルリッヒ病	3	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	1
30	遠位型ミオパチー	2	201	アンジェルマン症候群	0
31	ベスレムミオパチー	0	202	スミス・マギニス症候群	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0	203	22q11.2欠失症候群	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
34	神経線維腫症	17	205	脆弱X症候群関連疾患	0
35	天疱瘡	12	206	脆弱X症候群	0
36	表皮水疱症	0	207	総動脈幹遺残症	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	208	修正大血管転位症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	209	完全大血管転位症	0
39	中毒性表皮壊死症	1	210	単心室症	0
40	高安動脈炎	15	211	左心低形成症候群	0
41	巨細胞性動脈炎	2	212	三尖弁閉鎖症	1
42	結節性多発動脈炎	3	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
43	顕微鏡的多発血管炎	28	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	20	215	ファロー四徴症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	26	216	両大血管右室起始症	1
46	悪性関節リウマチ	7	217	エプスタイン病	0
47	バージャー病	5	218	アルポート症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	219	ギャロウェイ・モフト症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	103	220	急速進行性糸球体腎炎	4
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	93	221	抗糸球体基底膜腎炎	0
51	全身性強皮症	56	222	一次性ネフローゼ症候群	21
52	混合性結合組織病	9	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
53	シェーグレン症候群	25	224	紫斑病性腎炎	3
54	成人スチル病	3	225	先天性腎性尿崩症	0
55	再発性多発軟骨炎	0	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
56	ベーチェット病	32	227	オスラー病	2
57	特発性拡張型心筋症	25	228	閉塞性細気管支炎	0
58	肥大型心筋症	6	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
59	拘束型心筋症	1	230	肺胞低換気症候群	0
60	再生不良性貧血	11	231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0
61	自己免疫性溶血性貧血	1	232	カーニー複合	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	233	ウォルフラム症候群	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	15	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0

4 指定難病についての診療

64	血栓性血小板減少性紫斑病	3	235	副甲状腺機能低下症	0
65	原発性免疫不全症候群	8	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
66	IgA腎症	20	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
67	多発性嚢胞腎	9	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
68	黄色靭帯骨化症	30	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
69	後縦靭帯骨化症	99	240	フェニルケトン尿症	0
70	広範脊柱管狭窄症	11	241	高チロシン血症1型	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	43	242	高チロシン血症2型	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	7	243	高チロシン血症3型	0
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	244	メープルシロップ尿症	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	245	プロピオン酸血症	0
75	クッシング病	1	246	メチルマロン酸血症	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	247	イソ吉草酸血症	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
78	下垂体前葉機能低下症	60	249	グルタル酸血症1型	0
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	250	グルタル酸血症2型	1
80	甲状腺ホルモン不応症	0	251	尿素サイクル異常症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
82	先天性副腎低形成症	0	253	先天性葉酸吸収不全	0
83	アジソン病	1	254	ポルフィリン症	0
84	サルコイドーシス	61	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
85	特発性間質性肺炎	45	256	筋型糖原病	0
86	肺動脈性肺高血圧症	11	257	肝型糖原病	0
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	16	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
89	リンパ脈管筋腫症	6	260	システロール血症	0
90	網膜色素変性症	10	261	タンジール病	0
91	バッド・キアリ症候群	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	263	脳髄黄色腫症	0
93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	39	264	無βリポタンパク血症	0
94	原発性硬化性胆管炎	2	265	脂肪萎縮症	0
95	自己免疫性肝炎	13	266	家族性地中海熱	0
96	クローン病	147	267	高IgD症候群	0
97	潰瘍性大腸炎	177	268	中條・西村症候群	0
98	好酸球性消化管疾患	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	271	強直性脊椎炎	4
101	腸管神経節細胞減少症	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
103	CFC症候群	0	274	骨形成不全症	0
104	コストロ症候群	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
105	チャージ症候群	0	276	軟骨無形成症	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
110	ブラウ症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
111	先天性ミオパチー	3	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	283	後天性赤芽球癆	3
113	筋ジストロフィー	11	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	285	ファンconi貧血	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
116	アトピー性脊髄炎	0	287	エプスタイン症候群	0
117	脊髄空洞症	3	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
118	脊髄髄膜瘤	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
119	アイザックス症候群	1	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
120	遺伝性ジストニア	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
121	神経フェリチン症	0	292	総排泄腔外反症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	293	総排泄腔遺残	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	296	胆道閉鎖症	1
126	ペリー症候群	0	297	アラジール症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	299	嚢胞性線維症	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	300	IgG4関連疾患	12
130	先天性無痛無汗症	0	301	黄斑ジストロフィー	1
131	アレキサンダー病	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
132	先天性核上性球麻痺	0	303	アッシャー症候群	0
133	メビウス症候群	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
135	アイカルディ症候群	0	306	好酸球性副鼻腔炎	127
136	片側巨脳症	0	307	カナバン病	0
137	限局性皮質異形成	0	308	進行性白質脳症	0
138	神経細胞移動異常症	0	309	進行性ミオクロームズてんかん	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	310	先天異常症候群	0
140	ドラベ症候群	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
145	ウエスト症候群	0	316	カルニチン回路異常症	0
146	大田原症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	318	シトリン欠損症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
150	環状20番染色体症候群	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
151	ラスムッセン脳炎	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
152	PCDH19関連症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	326	大理石骨病	0
156	レット症候群	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	328	前眼部形成異常	0
158	結節性硬化症	2	329	無虹彩症	1
159	色素性乾皮症	2	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
160	先天性魚鱗癬	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
163	特発性後天性全身性無汗症	7	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
164	眼皮膚白皮症	0	335	ネフロン癆	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	337	ホモシステチン尿症	0
167	マルファン症候群	6	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	339	MECP2重複症候群	0
169	メンケス病	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	341	TRPV4異常症	0
171	ウィルソン病	1			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	118
合計患者数(人)	2110

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・呼吸ケアチーム加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・術後疼痛管理チーム加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・後発医薬品使用体制加算1
・歯科外来診療感染対策加算3	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算
・診療録管理体制加算3	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算	・地域医療体制確保加算
・看護補助加算	・救命救急入院料4
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・入院時食事療養/生活療養(I)
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・医療機器安全管理料2
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料二	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・小児運動器疾患指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・先天性代謝異常症検査
・腎代替療法指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・一般不妊治療管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・生殖補助医療管理料1	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
・下肢創傷処置管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・国際標準検査管理加算
・連携充実加算	・遺伝カウンセリング加算
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・肝炎インターフェロン治療計画料	・胎児心エコー法
・薬剤管理指導料	・ヘッドアップティルト試験

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工臓器検査、人工臓器療法	・小児鎮静下MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・頭部MRI撮影加算
・単線維筋電図	・全身MRI撮影加算
・光トポグラフィー	・肝エラストグラフィ加算
・脳波検査判断料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・神経学的検査	・外来化学療法加算1
・補聴器適合検査	・無菌製剤処理料
・全視野精密網膜電図	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・コンタクトレンズ検査料1	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・小児食物アレルギー負荷検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・がん患者リハビリテーション料
・CT透視下気管支鏡検査加算	・リンパ浮腫複合的治療料
・経気管支凍結生検法	・歯科口腔リハビリテーション料2
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・経頭蓋磁気刺激療法
・画像診断管理加算4	・通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・精神科作業療法
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・乳房用ポジトロン断層撮影	・医療保護入院等診療料
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・冠動脈CT撮影加算	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・外傷全身CT加算	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・心臓MRI撮影加算	・硬膜外自家血注入
・乳房MRI撮影加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・人工腎臓	・羊膜移植術
・導入期加算1	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・ストーマ合併症加算	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・磁気による膀胱等刺激法	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・網膜再建術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・歯科技工加算1及び2	・人工中耳植込術
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・自家脂肪注入	・耳管用補綴材挿入術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・椎間板内酵素注入療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・緊急穿頭血腫除去術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・脳血栓回収療法連携加算	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・乳癌悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・乳癌悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・気管支バルブ留置術	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・肺悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・生体部分肝移植術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下膵中央切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的下肢動脈形成術	・同種死体腎移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・コーディネート体制充実加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・歯周組織再生誘導手術
・尿道狭窄グラフト再建術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・精巣温存手術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・精巣内精子採取術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下仙骨腔固定術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・一回線量増加加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・定位放射線治療
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・画像誘導密封小線源治療加算
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・保険医療機関間の連携による病理診断
・体外式膜型人工肺管理料	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・デジタル病理画像による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・口腔病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)	・看護職員処遇改善評価料63
・輸血管理料Ⅰ	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
難治性固形がんに対する次世代CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	122,902,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
RNA標的創薬技術開発/新規RNA標的医薬品の研究開発(RNA結合PPR蛋白を用いた難治性神経筋疾患における異常RNA標的治療)	中森 雅之	臨床神経学講座	35,880,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
認知症、脳卒中の病態解明にむけた遺伝性脳小血管病の血液脳関門破綻機序解明	西原 秀昭	臨床神経学講座	27,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
トリプレットリピート病の異常伸長リピート短縮による根拠的治療開発	中森 雅之	臨床神経学講座	26,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遠紫外線による低侵襲歯周病治療器の開発	西川 潤	基礎検査学講座	19,875,958	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
カスタムメイド骨接合材料に関する開発ガイドランス(案)策定	坂井 孝司	整形外科学講座	19,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
MRIによる子宮筋腫のサブタイプおよび組織構成の非侵襲的な予測法に関する研究開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	13,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
体外受精卵(胚)の着床率向上を目的とした胚のタイムラプス画像機械学習に基づく良好胚および正常核型胚スクリーニング法の開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	10,400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
神経疾患への血液脳関門破綻の影響(スイスの国際共同研究プログラム(JRPs))	西原 秀昭	臨床神経学講座	8,673,500	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
Bio-Digital Transformation (バイオDX) 産学共創拠点にかかる山口大学による研究開発	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	7,800,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
自然免疫異常を介した川崎病冠動脈病変発症機序の解明および新規分子標的治療の確立	岡田 清吾	小児科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
失明予防に向けた医療用眼計測治療レンズに関する研究開発	木村 和博	眼科学講座	5,980,000	補 委	学校法人早稲田大学
多発性硬化症の治療法の検証	西原 秀昭	臨床神経学講座	5,632,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
DM1マウスの薬効・薬理評価	中森 雅之	臨床神経学講座	5,200,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
ロングリードシーケンスとiPS細胞技術で解き明かす、リピート構造異常に起因する骨格筋疾患の発症機序	中森 雅之	臨床神経学講座	5,200,000	補 委	国立大学法人 京都大学
ゲノム情報と創薬をつなぐ局在評価法の構築	富永 直臣	病態検査学講座	4,550,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
統合失調症患者を対象としたルラシドンと認知機能リハビリテーション(NEAR)の併用による認知機能への影響を検討する研究	中川 伸	高次脳機能病態学講座	3,842,410	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン+シスプラチン+S-1(GCS)療法の第III相試験	井岡 達也	腫瘍センター	3,250,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

小計 18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
統合失調症の認知機能障害の新規スクリーニング質問票に関する調査研究	樋口 文宏	精神科神経科	2,145,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
遺伝子特殊構造を標的とした低分子化合物によるリピート病治療法の開発	中森 雅之	臨床神経学講座	1,950,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
統合失調症の早期診断のエビデンスの創出	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,950,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
防災活動等に着目した孤立孤独のハイリスク者の社会的選好に関する探索研究	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	715,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
実践研修の実施と検証による研究マネジメント人材育成及びネットワーク構築に関する研究	丸本 芳雄	臨床研究センター	545,961	補 委	学校法人藤田学園 藤田医科大学
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	下川 元継	基礎検査学講座	520,000	補 委	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
筋強直性ジストロフィーの病態解明と治療開発	中森 雅之	臨床神経学講座	400,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第II相臨床研究 付随研究: 治療効果および有害事象予測のバイオマーカー	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	10,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
早産児の予後を規定する周産期因子について	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 委	浜田市
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 委	山口県
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	200,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
FLT3遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者において、ギルテリニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響に関する研究のためのヒストリカルデータ取得研究FLT3遺伝子変異を有する切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome(ePRO)モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験	中邑 幸伸	輸血部	116,600	補 委	公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	88,000	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
脳梗塞に対する再生療法の開発	高見 太郎	消化器内科学講座	5,000,000	補 委	宇部市
医工獣産学連携による医療技術。機器開発センター構想	西田 周泰	リハビリテーション部	5,000,000	補 委	宇部市
子宮内膜オルガノイドを用いたin vitro 着床モデルの作製	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祿市
うつ病患者における疾患バイオマーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講座	375,000	補 委	美祿市
口蓋裂患者の母音の音響学的特徴の解析	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祿市

小計 19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
中枢神経バリアー構成細胞の特性を利用した難治性中枢神経疾患の新規治療法開発	神田 隆	臨床神経学講座	10,770,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄損傷におけるシータ波を用いた皮質脊髄路賦活化治療の可能性	木田 裕之	神経生理学講座	10,270,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
固形がんに対する新規CAR-T細胞技術のメカニズム解析研究	玉田 耕治	免疫学講座	10,140,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
T細胞の標的抗原同定に基づく大動脈瘤の真の原因究明と新たな診療体系の創出	吉村 耕一	器官病態外科学講座	7,540,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小胞体機能是正によるHFpEFの新規治療法の開発	矢野 雅文	器官病態内科学講座	6,890,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAP活性化ダイナミクスのシステム制御とその病態発症メカニズムの解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	6,890,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック転写因子による脂質代謝と細胞増殖に関連するクロマチン制御機構の解明	中井 彰	医化学講座	6,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
押されたら押し返すYAPメカノホメオスタシスによるからだ建築	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	6,370,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自の改良型子宮内膜オルガノイドを応用した着床機構および着床不全の病態の解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	6,110,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
iPS細胞から誘導した間葉系幹細胞由来細胞外小胞によるセルフリー肝臓再生療法の開発	高見 太郎	消化器内科学講座	5,850,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAPメカノホメオスタシスによる再生の力学制御機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	5,720,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血組織に血管新生を誘導する経静脈投与が可能なエクソソーム血管再生療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	5,460,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞骨格と細胞内小器官を標的とした放射線ナノ・マルチ増感カスケード治療の創生	中村 教泰	器官解剖学講座	5,070,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トリプレットリピート病のリピート長変動機構解明とリピート短縮治療の基盤確立	中森 雅之	臨床神経学講座	4,160,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
早期肝癌発見を可能とするリキッドバイオプシー検査体制の構築	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	3,640,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性無精子症克服に向けた人工精巣の創出	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	3,640,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己分子としての共生微生物由来代謝産物の免疫学的意義の解明	柴田 健輔	微生物学講座	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
流体力学的指標に着目した心房細動における血栓形成の原因解明と抗凝固療法指標の構築	小室 拓也	病態検査学講座	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便中の腸内細菌検査による大腸腫瘍診断および大腸腫瘍リスク診断法の開発	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	3,380,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
交感神経活性化に着目した進行性脂肪肝疾患における心血管イベント発症機序の解明	劉 金耀	医学系研究科	3,250,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
皮質拡張性脱分極(拡張性抑制)と脳血管自動調節機能の関係性についての研究	杉本 至健	脳神経外科	3,120,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫細胞カルシウムシグナリング病態の高次スペクトルによる定量	安部 武志	医学系研究科・医学部 附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	2,990,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医 化学講座	2,810,916	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ダントロン短期併用によるドキシソリン心筋症の革新的予防法	中村 吉秀	第二内科	2,730,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
黄体化に向かう顆粒膜細胞に対する卵丘細胞の役割;シングルセルRNA-seq解析から	白蓋 雄一郎	産科婦人科	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新しいゼブラフィッシュ動物モデルを用いた耳石関連疾患の予防に関する研究	山本 陽平	耳鼻咽喉科学講座	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小胞体機能是正によるHFpEFの新規治療法の開発	矢野 雅文	器官病態内科学講座	2,568,599	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トリプレットリピート病のリピート長変動機構解明とリピート短縮治療の基盤確立	中森 雅之	臨床神経学講座	2,505,976	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠初期から始めるうつ病への移行を防ぐセルフトラッキングの実証研究	伊東 美佐江	母子看護学講座	2,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性ぶどう膜炎に対する腸内細菌由来代謝産物を用いた治療法の開発	柴田 健輔	微生物学講座	2,470,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
TP63遺伝子変異による口唇口蓋裂を呈さない外胚葉形成不全症の発症機構の解明	八木 献	形成外科	2,470,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳損傷後に起こる硬膜リモデリングのメカニズムと意義	小西 博之	神経解剖学講座	2,402,725	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化に伴う骨折治癒障害に対するPTHとWnt/ β -catenin シグナルの相互作用	油形 公則	リハビリテーション部	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シングルセル解析による女性ホルモン非依存的に発育する子宮筋腫の病態解明	佐藤 俊	産科婦人科	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メラニンに関与するニューロペプチドを標的とした加齢黄斑変性への新規治療法の開発	湧田 真紀子	臨床研究センター	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌における宿主・腫瘍側両面から着目した新規統合的バイオマーカーの探索	中島 正夫	第二外科	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
過剰コレステロールが誘起する繊維のエクトソーム放出場を定量化する	板橋 岳志	分子細胞生理学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜変性疾患の発症・進展とミトコンドリア機能の相関解析と創薬への応用	林 謙一郎	眼科	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
睡眠環境による乳児死亡の予防に資する養育者への教育支援プログラムの実証研究	姫宮 彩子	法医学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊産婦の被援助指向性を高める教育・指導プログラムの開発	橋本 真貴子	母子看護学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
頸動脈エコー情報に基づく脳循環予備能推定システムに関する研究	貞廣 浩和	手術部	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝性色素異常症の新規原因遺伝子の同定と機能解析	浅野 伸幸	皮膚科	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
凍結保存した他家線維芽細胞シート移植による難治性皮膚潰瘍治療法の開発	池 創一	第一外科	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜色素変性におけるエンドセリンを介する網膜変性シグナルの解明	内 翔平	眼科	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜色素変性症の病態進行におけるNAD+量変化の影響とその制御機構の解明	芦森 温茂	眼科学講座	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実践に基づいた看護師の呼吸ケア実践能力の解明と評価ツールの開発	田戸 朝美	臨床看護学講座	2,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能(AI)を用いた双胎間輸血症候群の発症予測システムの構築	村田 晋	総合周産期母子医療センター	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗老化因子NAMPTに着目したインスリン抵抗性におけるアミノ酸機能の解明	山口 奈津	公衆衛生学・予防医学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性てんかんに対する温度感受性TRPA1チャネルの有効性と病態制御基盤の解明	森山 博史	脳神経外科	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺がん組織の分泌エクソソーム内分子の網羅的解析による新規バイオマーカーの開発	村上 順一	器官病態外科学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
看護職のための遺伝・ゲノム医療に関するゲーミフィケーション教育の開発	村上 京子	母子看護学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症線維化動物モデルの作製と新規治療法の開発	三原 由実子	産科婦人科学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度センサー分子TRPM2を標的とした抗炎症作用による大動脈瘤新規薬物療法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高感度かつ早期診断可能な薬剤性肝障害発現リスク検出システムの構築	北原 隆志	臨床薬理学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血清メチル化RUNX3コピー数検査による早期胃がんの診断性能に関する前向き研究	浜辺 功一	第一内科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症喘息患者における活動制限の病態解明並びに診断・治療支援システムの確立	松永 和人	呼吸器・感染症内科学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症抑制・線維化抑制による新規心不全治療の探索	末富 建	器官病態内科学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラットを用いた薬物と水素吸入による髄鞘保護を主眼としたCO中毒の新規治療法の確立	藤田 基	救急医学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Basiginに焦点を当てた血液脳関門の人為的制御に基づく新規神経疾患治療法の開発	池田 栄二	病理形態学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
日本人における単純型乏毛症の遺伝的背景と発症機序の解明	下村 裕	皮膚科学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NFATc4を主軸とした壊死周囲微小環境の攪乱に基づく新規膠芽腫治療戦略の開発	崔 丹	病理形態学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Heme oxygenase1発現抑制と三酸化二砒素を用いた子宮頸癌の新規治療法の開発	梶邑 匠彌	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
早産児胃液中炎症性メディエーター濃度と慢性肺炎患重症化に関する検討	松隈 知恵	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性呼吸器疾患における健康寿命喪失過程の解明と健康寿命予測システムの構築	大石 景士	呼吸器・感染症内科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多剤耐性菌の制御法の開発に向けた腸内細菌目細菌の環境適応機構の解明	坂本 啓	微生物学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乾燥積層線維芽細胞シートによる消化管縫合不全の予防法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣高悪性度漿液性腺癌(HGSC)の発生・進展に関与するlncRNAの同定	末岡 幸太郎	産科婦人科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胆道がんゲムシタピン耐性化におけるがん幹細胞性を標的とした治療法開発	西山 光郎	手術部	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性神経筋疾患の病態解明と治療開発のための新規血液脳・神経・筋関門モデルの確立	清水 文崇	臨床神経学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高精細multiparametric MRIによるMAFLD関連慢性腎臓病の早期診断法の確立	伊東 克能	放射線医学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎臓小胞体のリアノジン受容体安定化による慢性腎臓病の新規治療開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COVID-19ワクチン接種後の免疫反応の多様性と相関関係を示す腸内環境の解明	角川 智之	寄附講座(呼吸器・健康長寿学講座)	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
術後臍液瘻に対する細胞シートを用いた新規治療の開発-仮性動脈瘤予防に注目して-	竹本 圭宏	第一外科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の劇症化を抑制する新規治療法の開発	長谷川 明洋	微生物学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
損傷組織から放出された細胞内タンパク質による脳内免疫細胞の機能調節	泉 友則	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たなin vitro着床モデルを用いた脱落膜化不全の病態解明	田村 功	産科婦人科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病および冠動脈病変発症における自然リンパ球(Innate Lymphoid Cells:ILCs)の関与	大西 佑治	小児科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌に対するICI治療限界克服を目指した新規複合免疫療法の開発	藤原 康弘	第二外科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遠紫外線照射によるFusobacterium nucleatumの殺菌効果の検討	西川 潤	基礎検査学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートの再生医療での普及を目指した乾燥保存法の開発	鈴木 亮	第一外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
血糖コントロールを重視したAkt2活性化による新たな脊髄保護法の開発	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん肺転移ニッチを構成する肺線維芽細胞の多様性の理解と転移抑制治療への応用	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シングルセルレベルで微小環境から探る子宮筋腫の発育とその多様性のメカニズムの解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がんにおけるHSF1複合体を介したエピゲノム制御機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
出力系時計遺伝子に着目した炎症性腸疾患の病態解明と治療法の展開	田口 昭彦	第三内科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
TurboID法により同定した新規アセチル化酵素群によるHSF1転写制御機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
フロー体験を用いた前頭葉ニューロフィードバックによるうつ病治療法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍と宿主の動的平衡状態の解明による肺癌個別化治療の開発	新藤 芳太郎	第二外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自家テノンシートを応用した新規緑内障濾過手術の開発	寺西 慎一郎	眼科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
転写因子MRTF/YAP経路を介したメカノストレスによるRPE制御機構の解明	木村 和博	眼科学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トランスクリプトーム解析を用いた男性更年期障害(LOH症候群)の病態解明	岡 真太郎	血液浄化療法センター	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症の病態解明と新規ハイブリッド治療の開発	石川 剛	消化器内科学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈治療の開発	小林 茂樹	寄附講座(高齢者心不全治療学講座)	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
日本人における汎発性膿疱性乾癬の遺伝的背景と病態のさらなる解明	安野 秀一郎	皮膚科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
概日リズムが多発性骨髄腫の病態に及ぼす影響の解明	徳永 良洋	第三内科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
基礎代謝量に着目した肥満児に対する新たな肥満治療戦略の構築	坂田 恭史	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアルワールドデータの統合解析で拓くがん免疫薬物療法の致死的有害事象回避法の構築	岡田 直人	薬剤部	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
固形がんに対する次世代型CAR-NK細胞療法の研究開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋インスリン感受性を介した時計遺伝子DBP1による糖・脂質代謝制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病における情動認知障害に有効な在宅治療プログラムの開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
老化骨格筋由来エクソソームを中心とした筋-脳連関の解明	富永 直臣	病態検査学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス回避学習を用いた、Amyloid β oligomerの有害作用抽出と拮抗分子による制御	美津島 大	神経生理学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPD患者におけるフレイル早期発見、病態管理システムの開発	土居 恵子	寄附講座(呼吸器・健康長寿学講座)	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌に対する個別化医療展開のための至適薬物療法選択に関する研究	井岡 達也	腫瘍センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌における一次繊毛の中心体制御メカニズム解明による新たな治療戦略の創出	松本 洋明	泌尿器科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
異なる刺激方法による子宮内膜間質細胞の脱落膜化は全て同じ 脱落膜化 か?	竹谷 俊明	総合周産期母子医療センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
希少染色体疾患児の成人期を見据えた支援体制構築-海外のsocial supportモデルから-	沓脱 小枝子	母子看護学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症随伴性破骨細胞を介した老化による骨粗鬆症発症の新規メカニズムの解明	辻 竣也	薬理学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアンジン受容体を分子標的とした関節リウマチの新規治療開発	名和田 隆司	第二内科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖化型可溶性トランスフェリン受容体による新たな肝癌診断バイオマーカーの開発	小林 利彦	検査部	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
計算論的モデルによるリスク選好評価を用いたうつ病・不安症・併存病態の神経機序解明	萩原 康輔	精神科神経科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Elucidation of the effects of STB HAP1 in modulating protecting steroid hormone functions by acting	JAHAN MIR RUBAYET	臨床神経学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規の早期肝細胞癌バイオマーカーとしての糖化フェリチン測定法の開発	石黒 旭代	臨床検査・腫瘍学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実践に基づいた看護師の呼吸ケア実践能力の解明と評価ツールの開発	田戸 朝美	臨床看護学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞保護作用を強化した断片化HAP1の臨床応用に向けた基盤構築	野崎 香菜子	神経解剖学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リキッドバイオプシーを用いたメチル化解析によるIPMN関連膵がん早期診断法の確立	末永 成之	消化器内科学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト歯肉由来繊維芽細胞シート移植のバラクライン効果を裏付ける重要品質特性解析	末廣 晃太郎	先進救急医療センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症脳梗塞に対する再開通療法後の微小重力培養幹細胞動注併用療法の開発	石原 秀行	脳神経外科学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代MRIによる超高精細・高解像イメージングを用いた早期胆嚢癌の診断基準の確立	東 麻由美	放射線科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非アルコール性脂肪性肝炎由来非代償性肝硬変症の予後延長を目指した新規治療法の開発	佐々木 嶺	肝疾患センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
排卵過程における卵丘細胞と壁顆粒膜細胞の相互作用の変化	高木 遥香	総合周産期母子医療センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸ケアのOJTモデルの開発	嶋岡 麻耶	臨床看護学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Detection of novel therapeutic targets and biomarkers via identification of beneficial oral/	FERDOUS TARANNUM	医学系研究科	1,304,071	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス下における食欲不振の病態解明	柳井 章江	基礎検査学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Analyses of in vivo neuroprotective role of STB/HAP1	イスラム エムディノ ビウル	神経解剖学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規肝臓再生療法における効率的な肝臓修復細胞および重要因子の同定	山本 直樹	保健管理センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体の安定化に注目した左室収縮能の保たれた心不全に対する治療法の探査	小田 哲郎	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大伏在静脈グラフトに長期開存をもたらす、周囲脂肪組織の血管保護作用に関する研究	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療における他家積層線維芽細胞シートの新たな緩凍凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管再生療法を可能にする臨床応用可能な大量培養液からのエクソソーム単離法の開発	上野 耕司	器官病態外科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠高血圧腎症胎盤における遺伝子発現の変化とその制御機構の解明	品川 征大	産科婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢者心不全に合併するサルコペニアの病態解明とその治療アルゴリズムの作成	立石 裕樹	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
個別化診療を見据えた肺癌克服のための癌幹細胞と腫瘍微小環境に関する研究	徳光 幸生	第二外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
海馬における経験記憶形成プロセスと経験符号化様式の解明	石川 淳子	神経生理学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
long non-coding RNAを標的とした大腸癌早期診断のための検査法の開発	西岡 光昭	検査部	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞の作用を洗練・集約化した抗線維化microRNA封入脂質ナノ粒子の開発	松本 俊彦	消化器内科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病における膵β細胞の細胞可塑性と脱分化の成因解明	田部 勝也	病態制御内科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
股関節疾患におけるキネマティクス・キネティクスと患者立脚型アウトカム	坂井 孝司	整形外科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍浸潤マクロファージにおけるsiglec-7の機能解明と新規治療法の開発	松井 洋人	第二外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍血管新生を標的としたProtenase-3の機能解明と新規治療法の開発	中島 千代	第二外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
尿サンプル由来膀胱オルガノイドを活用したがん進展・治療抵抗性獲得機序の解明	恒富 亮一	第二外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群における合併症発症リスクを層別化できる鑑別診断法の確立	野島 順三	基礎検査学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイジング・イン・プレイスを実現する地域ベースの看取り支援と認知症予防プログラム	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性末梢神経疾患における自己抗体の血液神経関門通過メカニズムの解明	佐藤 亮太	脳神経内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
門脈大循環シャントを有する腸内細菌叢の病態解明とIVR治療による新規治療戦略の開発	西村 達朗	第一内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌幹細胞様細胞における免疫逃避機序の解明	木村 祐太	第二外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
母乳による慢性肺疾患発症予防とIL-33/ST-2 pathwayの関与の証明	木村 献	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経線維腫瘍中のマスト細胞関連蛋白阻害による新規治療法の開発	山本 美佐	病態検査学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌に対する化学療法副作用関連バイオマーカーの探索と診断チップの開発	武田 茂	消化器・腫瘍外科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
髄液 turn over の促進によるアミロイドβクリアランス療法の開発	野村 貞宏	脳神経外科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜ジストロフィ表現型の規定因子の探索	山田 直之	眼科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「正解のない問題」に取り組むメタ認知に着目し公衆衛生看護の思考を深める対話法	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋梗塞ハイリスク病変に対する血管小胞体Ca制御による新規プラーク安定化療法の開発	岡村 誉之	器官病態内科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高二酸化炭素血症による脊髄血流増加作用と脊髄虚血予防効果の検討	山下 敦生	麻酔・蘇生学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Glymphatic pathway障害の面から見たくも膜下出血の病態解明および新規治療法の開発	岡 史朗	脳神経外科	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療的ケア児のてんかん発症早期の腸内細菌叢と免疫能の解析および追加治療の提案	星出 まどか	社会連携講座(小児救急地域医療学講座)	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経ネットワークを介した肝臓-膵α細胞連関による栄養代謝調節の解明	椎木 幾久子	病態制御内科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
透析患者におけるCalciprotein particleとサルコペニアの関連性	中村 公彦	医療人育成センター	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症の病態解明と発症危険因子の探索	長谷川 俊史	小児科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
破骨細胞の新たな調節メカニズム:炎症と細胞外マトリクスの相互作用の解明	朝霧 成挙	薬理学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
哲学分析による終末期がん患者がその人らしく生き抜く力を支えるケアリングモデル構築	田中 愛子	基礎看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
看取り期の高齢者に対する安全な摂食援助のための指標開発	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水素ガスを吸入しながらの持久力トレーニングの開発	村本 勇貴	器官病態内科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊椎脊髄疾患の診断治療を支援する実人体に近いシミュレーションモデルの構築	西田 周泰	リハビリテーション部	1,147,262	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期のメンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究	樋口 尚子	保健管理センター	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性中枢神経疾患におけるIgGの中枢移行性を促進するBBB分子の同定	竹下 幸男	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫におけるALK阻害剤耐性の機序解明と新規治療の開発	深野 玲司	小児科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	高橋 秀典	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌における癌幹細胞性獲得と免疫監視逃避における細胞外シグナルの解析	恒富 亮一	第二外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者由来オルガノイドを用いた抗癌剤耐性機序の解明	前田 訓子	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族ケア実践モデルと教育モデルの開発	山本 小奈実	臨床看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん患者の免疫力アップを目指す口腔ケアプログラムの作成と実施の試み	齊田 菜穂子	臨床看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クローン病における腸管線維化を克服するための新規治療戦略	橋本 真一	光学医療診療部	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腹部大動脈瘤におけるステントグラフト留置後の縮小メカニズムの解析	竹内 由利子	第一外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌に対する鉄キレート剤を用いた抗癌剤感受性向上と浸潤・転移抑制機序の基礎研究	篠田 崇平	第一内科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと水素ガス投与併用による神経保護効果の検討	山下 理	麻酔科蘇生科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメトリーによるインターフェロンγの抗腫瘍効果の解析	近藤 智子	基礎検査学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器再生を担う力学制御YAPエンハンセオソームの分子実体の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
9軸センサとVOG同期記録による動的平衡機能評価と前庭リハビリテーションへの適用	橋本 誠	耳鼻咽喉科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児免疫性血小板減少症の治療反応性の予測と層別化治療の確立	東 良紘	小児科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
FABP4を介した脂質代謝および腫瘍周囲微小環境変化による前立腺癌増殖・進展制御	黄 明国	器官解剖学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
公衆衛生看護(保健師)業務において個別課題から地域課題へ展開するOJTモデルの開発	斎藤 美矢子	地域・老年看護学講座	901,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
産後うつ病撲滅を目指して:科学的根拠のある産後うつ病予防プログラムの社会実装	安達 圭一郎	基礎看護学講座	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん患者の妊孕性選択を支える支援ツールの開発	紙谷 恵子	臨床看護学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
濃縮骨髄液を用いた良性骨腫瘍切除後の再建法の開発	三原 惇史	整形外科	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオメカニクスとロボティクスに基づく肺機能/形態融合の次世代動物追跡放射線治療	椎木 健裕	放射線治療部	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
SREBF1遺伝子変異によるアトピー性皮膚炎様症状の発症機構の解明	下村 尚子	皮膚科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
無精子症における精巣内内分泌環境に着目した単一細胞トランスクリプトーム解析	白石 晃司	泌尿器科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周術期低血圧に対する昇圧剤投与は遊離移植組織の吻合部血栓形成を抑制するか	高須 啓之	形成外科	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ネグレクトの支援方針の意思決定における支援者特性アセスメントツールの開発と検証	緒方 彩乃	地域・老年看護学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部放射線治療中の腫瘍硬度イメージングを用いた患者個別化治療支援システムの開発	藤本 昂也	放射線治療部	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞は新型インフルエンザに起因する肺傷害を改善するか	藤本 洋輔	総合周産期母子医療センター	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠初期から始めるうつ病への移行を防ぐセルフモニタリングの実証研究	伊東 美佐江	母子看護学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
早期肝癌治療におけるリキッドバイオプシー検査による新たな統合インデックスの有用性	田邊 規和	検査部	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高精細マルチパラメトリックMRIの定量値を用いた肺癌の化学療法効果予測	田辺 昌寛	放射線医学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
環境中での薬剤耐性菌の制御に向けた、原生生物のバイオフィーム捕食作用の評価	小林 由紀	基礎検査学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
EPA介護福祉士候補者が求める日本語支援プログラムの開発	住田 靖子	地域・老年看護学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
光受容タンパクLOV2-Jαを用いたGABAA受容体β3Ser408-409リン酸化と学習の光制御	崎本 裕也	神経生理学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非がん慢性呼吸器疾患患者の呼吸管理選択に関する支援ツールの開発と検証	小野 聡子	基礎看護学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝臓再生療法に用いる間葉系幹細胞の大量調製法の確立と高機能化の検討	高見 太郎	消化器内科学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
妊娠先行型結婚をした夫婦へのケアプログラムの構築	河本 恵理	母子看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳に良い親の養育態度とは何か? - 自閉スペクトラム症児のマルチモダル神経画像研究 -	原田 健一郎	精神科神経科	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
産後うつ病撲滅を目指して: 科学的根拠のある産後うつ病予防プログラムの社会実装	安達 圭一郎	基礎看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期うつ病早期診断のための高精度スクリーニングシステム構築を目指した縦断的検討	末永 弘美	病態検査学講座	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	493,518	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心房細動状態において左室充満圧を評価できる新たな心エコー図指標の開発	中元 麻友	検査部	470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊婦・授乳婦における薬物療法の不安に対する薬剤師カウンセリングプログラムの構築	太田 千絢	薬剤部	470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病モデルマウスに対するニコチンアミドモノヌクレオチド投与による難聴予防の検討	津田 潤子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
経済的意識決定課題における選択傾向から未来のうつ症状を予測する手法の開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マウス炎症性腸疾患モデルを用いたYAP活性化と時空間的力学制御ダイナミクスの解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	355,520	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血流計測をベースとした肥厚性瘢痕の定量評価システムの開発	梅田 浩嗣	歯科口腔外科	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性がん治療用デザイナー細菌の開発	坂本 啓	ゲノム・機能分子解析学講座	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
電子カルテ情報によるリアルワールドデータをを用いた病態進行を予測するAIの開発	中津井 雅彦	医学系研究科・医学部 附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	130,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゲノムの個人差に応じた医療放射線防護に向けた放射性感受性の遺伝基盤の研究	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	65,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
2024年度来日研究生助成金	美津島 大	神経生理学講座	3,150,000	補委	公益財団法人上原記念生命科学財団
リアノジン受容体安定化によるあたらしいCPVTの治療	中村 吉秀	第二内科	2,000,000	補委	公益財団法人榊原記念財団
血液脳関門に注目した視神経脊髄炎の病態解明	清水 文崇	臨床神経学講座	2,000,000	補委	公益財団法人中外創薬科学財団
早期ステージ肝細胞癌診断のための糖化フェリチンを用いた新規測定法の開発	石黒 旭代	臨床検査・腫瘍学講座	950,000	補委	公益財団法人黒住医学研究振興財団
BBBに注目した難治性神経疾患の病態解明	清水 文崇	臨床神経学講座	800,000	補委	公益財団法人ブレインサイエンス振興財団
サルコペニア合併頸髄症における電気生理学的評価と機械学習手法を用いた早期診断制度の向上	藤本 和弘	整形外科	500,000	補委	公益財団法人 整形災害外科学研究助成財団

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究	椎木 幾久子	病態制御内科学講座	450,000	補 委	公益財団法人 日本応用酵素協会
令和6年度看護師・薬剤師・技師等海外研修助成	川添 優介	放射線部	200,000	補 委	公益財団法人がん研究振興財団
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究	椎木 幾久子	病態制御内科学講座	50,000	補 委	公益財団法人 日本応用酵素協会
肝細胞癌の腫瘍免疫原性向上を通じた免疫チェックポイント阻害剤治療限界の克服	中島 正夫	第二外科	2,000,000	補 委	公益財団法人 武田科学振興財団
視覚をつかさどる視神経の保護に関わる免疫制御メカニズムの解明と治療応用	柴田 健輔	微生物学講座	2,000,000	補 委	公益財団法人 武田科学振興財団
双極症とうつ病の鑑別診断を目指した血中エクソソームの網羅的グライコミクス	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	1,200,000	補 委	公益財団法人UBE学術振興財団
2型リアンジン受容体を分子標的とした自己免疫疾患の新規治療開発	名和田 隆司	第二内科	1,000,000	補 委	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
病原菌が感染宿主内で遭遇する環境ストレスの包括的理解に基づいた、被感染宿主内環境の「強靱化」による新規抗菌治療法の開発(医学)	坂本 啓	微生物学講座	1,000,000	補 委	公益財団法人UBE学術振興財団
医用人工知能のための振動理論に基づく説明可能性向上手法の研究と開発(医学)	安部 武志	医学系研究科・医学部 附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	1,000,000	補 委	公益財団法人UBE学術振興財団

小計 9

合計 266

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Matsunaga K, Koarai A, Koto H, et al	呼吸器・感染症内科	Guidance for type 2 inflammatory biomarkers.	Respir Investig. 2025 May ; 63(3):273-288.	Original Article
2	Yanai R, Uchi SH, Kondo Y, et al	眼科	The epidemiology of uveitis: comparison of its causes and visual outcomes between three-tiered medical facilities in Ube city.	Sci Rep. 2025 Mar 15 ; 15(1):8998. (オンライン)	Original Article
3	Kaneda K, Inoue T, Koga Y, et al	先進救急医療センター	The OROCHI (Observational Research of Clinical Course After mamushi) Study: A Prospective, Observational, Multicenter Study on the Efficacy of Mamushi (Gloydius blomhoffii) Antivenom Serum.	Cureus. 2024 Jul 18 ; 16(7):e64877. (オンライン)	Original Article
4	Koga Y, Fujita M, Yagi T, et al	先進救急医療センター	Association of Advanced Airway Management in Preference to Intravenous Adrenaline on Neurological Outcomes Following Out-of-Hospital Cardiac Arrest.	Cureus. 2024 May 8 ; 16(5):e59926. (オンライン)	Original Article
5	Koga Y, Fujita M, Kaneda K, et al	先進救急医療センター	Commenting on "Early intramuscular adrenaline administration is associated with improved survival from out-of-hospital cardiac arrest".	Resuscitation. 2024 Nov ; 204:110401.	Letter
6	Nishioka M, Hamabe K, Kunimune Y, et al	検査部	A case of asymptomatic infection of Ascaris suum identified by PCR-restriction fragment length polymorphism and DNA sequence analysis.	Diagn Microbiol Infect Dis. 2024 Sep ; 110(1):116444.	Case Report

7	Tanabe N, Saeki I, Yamaoka K, et al	第一内科	Efficacy of Lenvatinib and Atezolizumab Bevacizumab Combination Therapy in Patients With Combined Hepatocellular-cholangiocarcinoma.	Anticancer Res. 2025 Mar ; 45(3):1117-1125.	Original Article
8	Koyama K, Ohgami A, Nawata T, et al	薬剤部	Serial changes in anxiety levels related to corticosteroid use: A single-center prospective study.	Medicine (Baltimore). 2024 Jun 7 ; 103(23):e38489.	Original Article
9	Okada N, Yanagi T, Sasaki T, et al	薬剤部	Association between immune checkpoint inhibitor and cytomegalovirus infection: A pharmacovigilance study based on the adverse event reporting system.	Int J Cancer. 2025 Jan 15 ; 156(2):293-298.	Original Article
10	Nakamura K, Suehiro Y, Hamabe K, et al	第一内科	A Novel Index Including Age, Sex, hTERT, and Methylated RUNX3 Is Useful for Diagnosing Early Gastric Cancer.	Oncology. 2025 ; 103(4):320-326.	Original Article
11	Goto A, Hashimoto S, Yamamoto K, et al	第一内科	Cronkhite-Canada Syndrome With Advanced Gastric Cancer.	ACG Case Rep J. 2024 Jun 19 ; 11(6):e01328. (オンライン)	Original Article
12	Goto A, Hamabe K, Ito S, et al	第一内科	Characteristics of cases for which esophageal endoscopic submucosal dissection under general anesthesia is recommended.	Esophagus. 2025 Jan ; 22(1):85-94.	Original Article
13	Saeki I, Shimose S, Tomonari T, et al	第一内科	Alpha-fetoprotein and des-gamma-carboxy prothrombin can predict the objective response of patients with hepatocellular carcinoma receiving durvalumab plus tremelimumab therapy.	PLoS One. 2024 Sep 25 ; 19(9):e0311084. (オンライン)	Original Article
14	Nakata Y, Ishiguchi H, Fujimura T, et al	第二内科	Platypnea-Orthodeoxia Syndrome- Sequential Comparison of the Ascending Aorta's Anteversion to the Right Atrium.	Circ Rep. 2024 Apr 11 ; 6(5):187-188. (オンライン)	Original Article
15	Nawata T, Yonezawa M, Fujinaka M, et al	第二内科	Chronic non-bacterial osteomyelitis associated with psoriasis.	Rheumatol Adv Pract. 2024 Apr 10 ; 8(2):rkae052. (オンライン)	Original Article

16	Ishiguchi H, Huang B, El-Bouri WK, et al	第二内科	Incidence and Outcomes of Patients With Early Cardiac Complications After Intracerebral Hemorrhage: A Report From VISTA.	Stroke. 2024 Nov ; 55(11):2669-2676.	Original Article
17	Ishiguchi H, Huang B, El-Bouri WK, et al	第二内科	Initial blood pressure and adverse cardiac events following acute ischaemic stroke: An individual patient data pooled analysis from the VISTA database.	Eur Stroke J. 2024 Oct 30:23969873241296391.	Original Article
18	Ishiguchi H, Abdul-Rahim AH, Huang B, et al	第二内科	Residual Risks of Thrombotic Complications in Anticoagulated Patients with Atrial Fibrillation: A Cluster Analysis Approach from the GLORIA-AF Registry.	J Gen Intern Med. 2025 May ; 40(6):1227-1237.	Original Article
19	Ishiguchi H, Yoshiga Y, Shimizu A, et al	第二内科	Novel Method for Risk Stratification of Major Adverse Clinical Events Using Pre- and Post-Ablation Left Atrial Volume Index in Patients With Persistent Atrial Fibrillation.	Circ Rep. 2024 Sep 7 ; 6(10):415-423. (オンライン)	Original Article
20	Ishiguchi H, Huang B, El-Bouri WK, et al	第二内科	Stroke-heart syndrome and early mortality in patients with acute ischaemic stroke using hierarchical cluster analysis: An individual patient data pooled analysis from the VISTA database.	Eur Stroke J. 2024 Oct 13:23969873241290440.	Original Article
21	Nakashima Y, Ishiguchi H, Miyazaki Y, et al	第二内科	Rapid "progression" of aortic stenosis due to infective endocarditis on the noncoronary cusp.	J Echocardiogr. 2025 Jun ; 23(2):139-140.	Original Article
22	Ishiguchi H, Chen Y, Huang B, et al	第二内科	Machine learning for stroke in heart failure with reduced ejection fraction but without atrial fibrillation: A post-hoc analysis of the WARCEF trial.	Eur J Clin Invest. 2025 Mar ; 55(3):e14360.	Original Article

23	Ishiguchi H, Huang B, El-Bouri WK, et al	第二内科	Mortality Risk in Patients With Cardiac Complications Following Ischemic Stroke: A Report From the Virtual International Stroke Trials Archive.	J Am Heart Assoc. 2024 Dec 3 ; 13(23):e036799.	Original Article
24	Nawata T, Honda T, Sakamoto A, et al	第二内科	Role of type 2 ryanodine receptor stabilisation in autoimmune cell modulation.	Adv Rheumatol. 2024 Nov 22 ; 64(1):86. (オンライン)	Letter
25	Fujimura T, Takemitsu M, Murayama R, et al	第二内科	Appropriate Selection of the Initial Diagnostic Catheter for Left Coronary Angiography Using Computed Tomography.	Cureus. 2024 Dec 2 ; 16(12):e75004. (オンライン)	Original Article
26	Ishiguchi H, Yoshiga Y, Fukuda M, et al	第二内科	Integrating pre-ablation and post-ablation B-type natriuretic peptide to identify high-risk population for long-term adverse events and arrhythmic recurrence in persistent atrial fibrillation.	Open Heart. 2025 Feb 27 ; 12(1):e003251. (オンライン)	Original Article
27	Nawata T, Okimura T, Ariyoshi T, et al	第二内科	Concurrent Large-vessel Vasculitis and Small-vessel Vasculitis Accompanied by Basal Cell Carcinoma: A Case Report.	Intern Med. 2025 Mar 1.	Original Article
28	Uchinoumi H, Nakamura Y, Suetomi T, et al	第二内科	Structural instability of ryanodine receptor 2 causes endoplasmic reticulum (ER) dysfunction as well as sarcoplasmic reticulum (SR) dysfunction.	J Cardiol. 2025 Feb 8:S0914-5087(25)00038-3.	Original Article
29	Suetomi T, Fukue N, Ishida M, et al	第二内科	Task Shifting in Cardiac Catheterization to Sustain Physicians and Acute Coronary Syndrome Response Centers- Findings From the 2024 Japanese Circulation Society Chugoku-Shikoku Regional Survey.	Circ Rep. 2024 Oct 26 ; 6(12):592-597. (オンライン)	Original Article
30	Shibuya M, Fujinaka M, Yonezawa M, et al	第二内科	Pharmacokinetics of Hydrogen During Hydrogen-Saturated Saline Infusion in Pigs.	Biomedicines. 2025 Jan 19 ; 13(1):234. (オンライン)	Original Article

31	Kajimura Y, Taguchi A, Nagao Y, et al	第三内科	E4BP4 in macrophages induces an anti-inflammatory phenotype that ameliorates the severity of colitis.	Commun Biol. 2024 May 7 ; 7(1):527. (オンライン)	Original Article
32	Tokunaga Y, Akiyama M, Nakano K, et al	第三内科	Diffuse Large B-cell Lymphoma Complicated with Anti-3-hydroxy-3-methylglutaryl-Coenzyme A Reductase Immune-mediated Necrotizing Myopathy.	Intern Med. 2025 Feb 15 ; 64(4):589-595.	Case Report
33	Hatanaka R, Taguchi A, Nagao Y, et al	第三内科	The flavonoid Sudachitin regulates glucose metabolism via PDE inhibition.	Heliyon. 2024 Aug 8 ; 10(16):e35978. (オンライン)	Original Article
34	Amo-Shiinoki K, Tanabe K, Nishimura W, et al	第三内科	I2 cell dedifferentiation, the underlying mechanism of diabetes in Wolfram syndrome.	Sci Transl Med. 2025 Feb 19 ; 17(786):eadp2332.	Original Article
35	Taguchi A, Ohta Y, Nagao Y, et al	第三内科	The roles of output clock genes in regulating glucose metabolism.	J Diabetes Investig. 2024 Dec ; 15(12):1707-1710.	Original Article
36	Zou M, Tanabe K, Amo-Shiinoki K, et al	第三内科	Txnip deficiency causes a susceptibility to acute cold stress with brown fat dysfunction in mice.	J Biol Chem. 2025 Mar ; 301(3):108293.	Original Article
37	Taguchi A, Uraki S, Akiyama M, et al	第三内科	Unexplained Hypokalemia in a Patient With Obesity Harboring an Armadillo Repeat-Containing 5 (ARMC5) Gene Variant: A Case Report.	Cureus. 2025 Feb 19 ; 17(2):e79326. (オンライン)	Case Report
38	Nakabayashi H, Akiyama M, Yodokawa T, et al	第三内科	A Pheochromocytoma With Adrenocorticotrophic Hormone Secretion and Subsequent Fatal Outcome: A Case Report.	Cureus. 2025 Jan 15 ; 17(1):e77459. (オンライン)	Case Report
39	Tokunaga Y, Nakamura Y, Ando T, et al	第三内科	T-cell Large Granular Lymphocytic Leukemia with a STAT3 Mutation Successfully Treated with Cord Blood Transplantation.	Intern Med. 2025 Feb 1 ; 64(3):449-454.	Case Report

40	Fujioka Y, Nakamura Y, Yamamoto K, et al	第三内科	Bronchial structural changes analyzed with three-dimensional computed tomography correlate with severe acute graft-versus-host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Ann Hematol. 2025 Jan ; 104(1):729-740.	Original Article
41	Nakamura Y, Zaimoku Y, Yamaguchi H, et al	第三内科	Significance of absolute neutrophil count before allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with aplastic anemia.	Ann Hematol. 2024 Aug ; 103(8):3121-3133.	Original Article
42	Matsuo K, Nagamatsu J, Nagata K, et al	脳神経内科	Establishment of a novel amyotrophic lateral sclerosis patient (TARDBP (N345K/+))-derived brain microvascular endothelial cell model reveals defective Wnt/12-catenin signaling: investigating diffusion barrier dysfunction and immune cell interaction.	Front Cell Dev Biol. 2024 Aug 15 ; 12:1357204. (オンライン)	Original Article
43	Yamanaka N, Takeshita Y, Sato R, et al	脳神経内科	Acute therapeutic effects and pathophysiology of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis neuropathy.	BMJ Neurol Open. 2025 Jan 19 ; 7(1):e000938. (オンライン)	Original Article
44	Shimizu F, Nakamori M	脳神経内科	Blood-Brain Barrier Disruption in Neuroimmunological Disease.	Int J Mol Sci. 2024 Oct 2 ; 25(19):10625. (オンライン)	Original Article
45	Asami-Noyama M, Hamada K, Asai Y, et al	呼吸器・感染症内科	Factors associated with non-intervention of antifibrotic agents in IPF patients.	Respir Investig. 2024 Nov ; 62(6):1124-1131.	Original Article
46	Matsunaga K, Yoshida Y, Makita N, et al	呼吸器・感染症内科	Increased Risk of Severe Cardiovascular Events Following Exacerbations of Chronic Obstructive Pulmonary Disease: Results of the EXACOS-CV Study in Japan.	Adv Ther. 2024 Aug ; 41(8):3362-3377.	Original Article
47	Hirano T, Takahashi S, Fukatsu-Chikumoto A, et al	呼吸器・感染症内科	Diagnostic Utility of Specific Frailty Questionnaire: The Kihon Checklist for Hippocampal Atrophy in COPD.	J Clin Med. 2024 Jun 19 ; 13(12):3589. (オンライン)	Original Article

48	Yamamoto T, Oishi K, Ohata S, et al	呼吸器・感染症内科	Management Reality of Female Patients with COPD: A Multicenter Cross-Sectional CAP Study in Japan.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2024 May 23 ; 19:1123-1130. (オンライン)	Original Article
49	Oishi K, Hamada K, Fukatsu-Chikumoto A, et al	呼吸器・感染症内科	Clinical Remission in Patients With Biologic-NaA ⁻ ve Asthma: A Multicenter Study in Japan.	J Allergy Clin Immunol Pract. 2025 Feb ; 13(2):328-332.	Original Article
50	Hirano T	呼吸器・感染症内科	Erdheim-Chester Disease: Expanding the Understanding of Cardiovascular Involvement.	Intern Med. 2024 Nov 28.	Original Article
51	Matsunaga K, Oka H, Uchimura H, et al	呼吸器・感染症内科	Management of severe asthma during the COVID-19 pandemic: AA?retrospective study using a Japanese database.	Allergol Int. 2025 Apr ; 74(2):327-329.	Letter
52	Chen C, Moradi H, Vahid LK, et al	精神科神経科	Editorial: Exploring goal-directed behavior through creativity: perspectives from psychology, neuroscience, and psychiatry.	Front Psychol. 2024 Apr 19 ; 15:1407344. (オンライン)	Original Article
53	Hagiwara K, Chen C, Okubo R, et al	精神科神経科	Identifying distinct subtypes of mother-to-infant bonding using latent profile analysis in a nationwide Japanese study.	Arch Womens Ment Health. 2024 Oct ; 27(5):765-774.	Original Article
54	Mizumoto T, Ikei H, Hagiwara K, et al	精神科神経科	Mood and physiological effects of visual stimulation with images of the natural environment in individuals with depressive and anxiety disorders.	J Affect Disord. 2024 Jul 1 ; 356:257-266.	Original Article
55	Hirai T, Hagiwara K, Chen C, et al	精神科神経科	The impact of adverse childhood experiences on adult physical, mental health, and abuse behaviors: A sex-stratified nationwide latent class analysis in Japan.	J Affect Disord. 2025 Jan 15 ; 369:1071-1081.	Original Article
56	Yamada N, Tominaga K, Tominaga N, et al	精神科神経科	Glycosylation changes of vWF in circulating extracellular vesicles to predict depression.	Sci Rep. 2024 Nov 23 ; 14(1):29066. (オンライン)	Original Article

57	Shinkawa K, Mashimoto M, Matsubara T, et al	精神科神経科	Middle-aged man with primary hyperparathyroidism-associated psychosis: A case report.	PCN Rep. 2025 Jan 26 ; 4(1):e70057. (オンライン)	Original Article
58	Mashimoto M, Higuchi F, Okazaki S, et al	精神科神経科	Decreased Volume of Bone Marrow Adipocytes With Sparse Gelatinous Marrow Transformation in a Patient With Pancytopenia With Anorexia Nervosa: A Case Report.	Cureus. 2024 Apr 16 ; 16(4):e58390. (オンライン)	Case Report
59	Chen C, Nibbio G, Kotozaki Y	精神科神経科	Editorial: Cognitive and mental health improvement under- and post-COVID-19.	Front Psychol. 2025 Mar 6 ; 16:1565941. (オンライン)	Original Article
60	Matsuguma C, Takahashi K, Okada S, et al	小児科	Clinical utility of gastric fluid cytokine levels in preterm infants for predicting histological chorioamnionitis.	Cytokine. 2024 Aug ; 180:156642.	Original Article
61	Okada S, Sakai A, Ohnishi Y, et al	小児科	Necrotic Change of Tunica Media Plays a Key Role in the Development of Coronary Artery Lesions in Kawasaki Disease.	Circ J. 2024 Sep 25 ; 88(10):1709-1714.	Original Article
62	Tsuda Y, Matsushige T, Inoue H, et al	小児科	Diagnostic Utility of Preserved Dried Umbilical Cord Polymerase Chain Reaction in Intrauterine Herpes Simplex Virus Infection: A Case Report and Literature Review.	Neonatology. 2025 ; 122(1):27-31.	Case Report
63	Okada S, Ohnishi Y, Motonaga T, et al	小児科	Hypoxic Spell in Pediatric Patient With Repaired Tetralogy of Fallot.	Circ Rep. 2024 Oct 9 ; 6(11):536-537. (オンライン)	Original Article
64	Azuma Y, Sakata Y, Korenaga Y, et al	小児科	Ultrasonographic findings, including small bowel intussusception, in acute food protein-induced enterocolitis syndrome.	Pediatr Allergy Immunol. 2025 Feb ; 36(2):e70036.	Letter
65	Matsushige T, Inoue H, Hoshide M, et al	小児科	Serial cerebrospinal fluid concentrations of high mobility group box 1 in bacterial meningitis: a retrospective cohort study.	BMC Infect Dis. 2025 Jan 23 ; 25(1):107. (オンライン)	Original Article

66	Sakata Y, Fujii N, Nomura S, et al	小児科	Aplasia cutis congenita with unique vascular malformation and cranial hypoplasia: a case in a preterm infant.	Clin Exp Pediatr. 2025 Mar 11.	Original Article
67	Kobayashi H, Inoue H, Matsushige T, et al	小児科	Impact of Bacille Calmette-Guérin vaccination on the therapeutic schedule of infantile epileptic spasms syndrome: A 25-year Japanese single-center survey.	Vaccine X. 2024 Sep 18 ; 20:100558. (オンライン)	Original Article
68	Takeuchi Y, Morikage N, Samura M, et al	第一外科	Five-year follow-up of randomized clinical trial for pre-emptive inferior mesenteric artery embolization during endovascular aneurysm repair.	J Vasc Surg. 2024 Sep ; 80(3):693-701.e3.	Original Article
69	Suehiro K, Morikage N, Harada T, et al	第一外科	Time-Dependent Changes of Extremity Volume and Tissue Alterations in Swollen Arms Caused by Taxanes.	Lymphat Res Biol. 2024 Apr ; 22(2):131-137.	Original Article
70	Ueno K, Kurazumi H, Suzuki R, et al	第一外科	miR-709 exerts an angiogenic effect through a FGF2 upregulation induced by a GSK3B downregulation.	Sci Rep. 2024 May 18 ; 14(1):11372. (オンライン)	Original Article
71	Takeuchi Y, Morikage N, Sakamoto R, et al	第一外科	Early and Midterm Outcomes of Chimney Endovascular Aortic Repair for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysms.	J Endovasc Ther. 2024 Oct 18:15266028241284478.	Original Article
72	Yokoyama T, Kurazumi H, Nawata R, et al	第一外科	Right Ventricular Metastasis of Ewing's Sarcoma Treated Through Surgical Resection.	JACC Case Rep. 2024 Dec 4 ; 29(23):102654. (オンライン)	Case Report
73	Suehiro K, Sakuda H, Harada T, et al	第一外科	Interface Pressures Derived from a Calibrated Bandage Applied for Compression Therapy.	Ann Vasc Dis. 2025 ; 18(1):24-00103.	Original Article

74	Suto Y, Ueno K, Kurazumi H, et al	第一外科	Wound-healing effects of frozen-thawed allogeneic fibroblast sheet transplantation and xenogeneic fibroblast cell sheet transplantation cultured on a new substrate.	Tissue Cell. 2025 Aug ; 95:102888.	Original Article
75	Tokuhisa A, Tsunedomi R, Kimura Y, et al	第二外科	Exosomal miR-141-3p Induces Gemcitabine Resistance in Biliary Tract Cancer Cells.	Anticancer Res. 2024 Jul ; 44(7):2899-2908.	Original Article
76	Nishiyama M, Takeda S, Watanabe Y, et al	第二外科	Preventing Pneumonia in High-risk Patients After Esophageal Cancer Surgery: Mini-tracheostomy and Tazobactam/Piperacillin	In Vivo. 2024 Jul-Aug ; 38(4):1790-1798.	Original Article
77	Shindo Y, Ioka T, Tokumitsu Y, et al	第二外科	Safety and Feasibility of Neoadjuvant-Modified FOLFIRINOX in Elderly Patients with Pancreatic Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Jul 12 ; 16(14):2522. (オンライン)	Original Article
78	Ohta K, Sakoda Y, Adachi K, et al	第二外科	Therapeutic Efficacy of IL7/CCL19-Expressing CAR-T Cells in Intractable Solid Tumor Models of Glioblastoma and Pancreatic Cancer.	Cancer Res Commun. 2024 Sep 1 ; 4(9):2514-2524.	Original Article
79	Iida M, Takeda S, Yamamoto T, et al	第二外科	Risk factors for infectious complications after gastrectomy in older patients.	Exp Ther Med. 2024 Jun 17 ; 28(2):319. (オンライン)	Original Article
80	Fujiwara N, Tsunedomi R, Kimura Y, et al	第二外科	Protein phosphatase 6 promotes stemness of colorectal cancer cells.	Cancer Sci. 2024 Sep ; 115(9):3067-3078.	Original Article
81	Nakashima C, Iida M, Nishiyama M, et al	第二外科	Impact of infectious complications after gastrectomy on nona?gastric cancera?related deaths.	Oncol Lett. 2024 Sep 26 ; 28(6):562. (オンライン)	Original Article
82	Ozasa T, Nakajima M, Tsunedomi R, et al	第二外科	Novel immune drug combination induces tumour microenvironment remodelling and reduces the dosage of anti-PD-1 antibody.	Sci Rep. 2025 Mar 15 ; 15(1):8956. (オンライン)	Original Article

83	Matsui H, Ioka T, Kawaoka T, et al	第二外科	Survival Analysis of 4 Different Age Groups of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma After Radical Resection From Retrospective Multi-Center Analysis (YPB-003).	Cancer Med. 2025 Feb ; 14(4):e70647.	Original Article
84	Tokumitsu Y, Kawaoka T, Matsukuma S, et al	第二外科	A prospective observational study of laparoscopic approaches for suspected gallbladder cancer in Yamaguchi (YPB-002 LAGBY).	Updates Surg. 2025 Apr ; 77(2):435-445.	Original Article
85	Seki K, Imagama T, Seki T, et al	整形外科	Central sensitivity syndrome affects the disease activity index and treatment satisfaction in patients with rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis. 2024 Apr ; 27(4):e15159.	Original Article
86	Nishida N, Jiang F, Ohgi J, et al	整形外科	Effect of Posterior Decompression on the Spinal Cord of Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Finite Element Analysis.	World Neurosurg. 2024 Dec ; 192:e332-e340.	Original Article
87	Nishida N, Suzuki H, Tetsu H, et al	整形外科	Patient-specific mechanical analysis of pedicle screw insertion in simulated osteoporotic spinal bone models derived from medical images.	Asian Spine J. 2024 Oct ; 18(5):621-629.	Original Article
88	Iwanaga R, Mihara A, Sakai T, et al	整形外科	Radial Nerve Palsy Caused by Desmoid-Type Fibromatosis: A Case Report and Review of the Literature.	Cureus. 2024 Jul 20 ; 16(7):e65008. (オンライン)	Case Report
89	Iwanaga R, Mihara A, Muramatsu K, et al	整形外科	Primary Epithelioid Angiosarcoma of the Tibia: A Case Report and Review of the Literature.	Cureus. 2024 Sep 25 ; 16(9):e70208. (オンライン)	Case Report
90	Seki K, Seki T, Imagama T, et al	整形外科	The Factors Impacting on Patient-Reported Outcomes After Bicruciate-Stabilized Total Knee Arthroplasty for Varus Knee Osteoarthritis.	Indian J Orthop. 2024 Jul 16 ; 58(10):1395-1401. (オンライン)	Original Article

91	Seto T, Yukata K, Fujii K, et al	整形外科	Structural and Functional Alterations of the Deltoid Muscle After Arthroscopic Rotator Cuff Repair: A 2-Year Longitudinal Observation Study.	Orthop J Sports Med. 2024 Oct 7 ; 12(10):23259671241275667. (オンライン)	Original Article
92	Okazaki T, Imagama T, Matsuki Y, et al	整形外科	Accuracy of robotic arm-assisted versus computed tomography-based navigation in total hip arthroplasty using the direct anterior approach: a retrospective study.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Oct 4 ; 25(1):787. (オンライン)	Original Article
93	Uehara K, Hashimoto T, Yukata K, et al	整形外科	Clinical significance of upper arm motor nerve conduction velocity in cubital tunnel syndrome.	Shoulder Elbow. 2024 Oct 25:17585732241293360.	Original Article
94	Uehara K, Shiigi E, Seki K, et al	整形外科	Outcomes of Unrestricted Weight-Bearing During Interval Period With Cement-on-Cement Articulating Antibiotic-Loaded Spacers in Two-Stage Revision for Knee Prosthetic Joint Infection.	Cureus. 2024 Dec 9 ; 16(12):e75404. (オンライン)	Original Article
95	Suzuki H, Funaba M, Ogi S, et al	整形外科	Electrophysiological characteristics of neuropathic pain model in mice and a technique to evaluate peripheral nerve damage in the sciatic nerve.	Heliyon. 2025 Feb 20 ; 11(4):e42879. (オンライン)	Original Article
96	Fujimoto K, Suzuki H, Nishida N, et al	整形外科	Utilization of condoliase therapy versus surgery for lumbar disc herniation and comparison of post-treatment motor improvement.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Nov ; 246:108544.	Original Article
97	Seto T, Yukata K, Tsuji S, et al	整形外科	Methylglyoxal compromises callus mineralization and impairs fracture healing through suppression of osteoblast terminal differentiation.	Biochem Biophys Res Commun. 2025 Feb 2 ; 747:151312.	Original Article
98	Kawakami T, Imagama T, Matsuki Y, et al	整形外科	Preoperative abductor muscle strength on the healthy side affects the Timed Up and Go test after total hip arthroplasty in women.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Nov 5 ; 25(1):881. (オンライン)	Original Article

99	Aoki Y, Sugimoto H, Sentoku K, et al	皮膚科	Case of familial trichilemmal cyst caused by a recurrent monoallelic mutational mechanism in the PLCD1 gene.	J Dermatol. 2024 Dec ; 51(12):e446-e448.	Letter
100	Tokitaka S, Hirata H, Shimo R, et al	泌尿器科	Effectiveness of Enfortumab-Vedotin for Right Atrial Metastasis Following Total Cystectomy: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 4 ; 16(12):e75122. (オンライン)	Case Report
101	Tokunaga T, Hirata H, Hitaka Y, et al	泌尿器科	Role of long non-coding RNA leucine-rich repeat containing 75 antisense RNA1 in the invasion and progression of renal cell carcinoma.	Oncol Rep. 2025 Jan ; 53(1):11.	Original Article
102	Kobayashi K, Fujii N, Shimizu K, et al	泌尿器科	Comparative analysis of oncological outcomes between trimodal therapy and radical cystectomy in muscle-invasive bladder cancer utilizing propensity score matching.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Mar 5 ; 55(3):290-296.	Original Article
103	Oka S, Takii R, Fujimoto M, et al	泌尿器科	HSF1/HSP25 system protects mitochondria function from heat stress and assists steroidogenesis in MA-10 Leydig cells.	Mol Cell Endocrinol. 2025 Jan 1 ; 595:112391.	Original Article
104	Kobayashi K, Sakano S, Matsumoto H, et al	泌尿器科	Prognostic risk score and index including the platelet-to-lymphocyte ratio and lactate dehydrogenase in patients with metastatic or unresectable urothelial carcinoma treated with immune checkpoint inhibitors.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Feb 4 ; 55(2):148-157.	Original Article
105	Kobayashi K, Matsumoto H, Sakano S, et al	泌尿器科	Comparative Efficacy of Avelumab Maintenance Therapy Versus Continued Chemotherapy Followed by Pembrolizumab in Metastatic Urothelial Carcinoma With No Progression After 4 Cycles of Chemotherapy: A Retrospective Study Using Propensity Score Matching.	Clin Genitourin Cancer. 2024 Dec ; 22(6):102212.	Original Article

106	Hirata H, Fujii N, Oka S, et al	泌尿器科	C-reactive Protein-albumin-lymphocyte Index as a Novel Biomarker for Progression in Patients Undergoing Surgery for Renal Cancer.	Cancer Diagn Progn. 2024 Nov 3 ; 4(6):748-753. (オンライン)	Original Article
107	Fujii N, Urabe F, Yamamoto S, et al	泌尿器科	Extracellular vesicles in renal cell carcinoma: A review of the current landscape and future directions.	Urol Oncol. 2025 Jun ; 43(6):370-379.	Original Article
108	Shimabukuro T, Hidekazu T, Masahiro T, et al	泌尿器科	Long-Term Clinical Outcomes of Radical Prostatectomy Versus Image-Guided and Intensity-Modulated Radiation Therapy for Prostate Cancer: A Retrospective and Comparative Study.	Adv Urol. 2025 Mar 21 ; 2025:6412793. (オンライン)	Original Article
109	Ashimori A, Higashijima F, Ogata T, et al	眼科	HIF-1 α -dependent upregulation of angiogenic factors by mechanical stimulation in retinal pigment epithelial cells.	Dis Model Mech. 2024 Apr 1 ; 17(4):dmm050640.	Original Article
110	Ogata T, Ashimori A, Higashijima F, et al	眼科	HIF-1 α -dependent regulation of angiogenic factor expression in Müller cells by mechanical stimulation.	Exp Eye Res. 2024 Oct ; 247:110051.	Original Article
111	Hayashi K, Kobayashi M, Mori K, et al	眼科	The benzoylphenylurea derivative BPU17 acts as an inhibitor of prohibitin and exhibits antifibrotic activity.	Exp Cell Res. 2024 Sep 1 ; 442(1):114221.	Original Article
112	Higashijima F, Hatano M, Ohta M, et al	眼科	A new tube chamber system for evaluation of anterior chamber pressure during phacoemulsification tested in porcine eyes.	Int J Ophthalmol. 2025 Jan 18 ; 18(1):9-14. (オンライン)	Original Article
113	Yamada N, Iwamoto N, Sakuma A, et al	眼科	The Temporal Distribution and Microbial Spectrum in Infectious Keratitis: A Comprehensive Single-Center Study.	J Clin Med. 2025 Feb 27 ; 14(5):1613. (オンライン)	Original Article
114	Tanabe M, Tanabe M, Onoda H, et al	放射線科	Ultra-high resolution computed tomography with deep-learning-reconstruction: diagnostic ability in the assessment of gastric cancer and the depth of invasion.	Abdom Radiol (NY). 2024 Dec ; 49(12):4209-4215.	Original Article

115	Kobayashi T, Kunihiro Y, Uehara T, et al	放射線科	Volume changes of diseased and normal areas in progressive fibrosing interstitial lung disease on inspiratory and expiratory computed tomography.	Jpn J Radiol. 2024 Aug ; 42(8):832-840.	Original Article
116	Iida E, Inoue A, Tanabe M, et al	放射線科	A case of atypical meningioma presenting spontaneous infarction: the findings of magnetic resonance imaging, including amide proton transfer-chemical exchange saturation transfer imaging.	BJR Case Rep. 2024 Jul 9 ; 10(4):uaae023. (オンライン)	Case Report
117	Kunihiro Y, Matsumoto T, Onoda H, et al	放射線科	A quantitative analysis of progressive fibrosing interstitial lung disease on computed tomography for the assessment of decreased vital capacity.	Acta Radiol. 2024 Aug ; 65(8):922-929.	Original Article
118	Tanabe M, Kawano Y, Ihara K, et al	放射線科	Application of deep learning techniques for breath-hold, high-precision T2-weighted magnetic resonance imaging of the abdomen.	Abdom Radiol (NY). 2025 May ; 50(5):2312-2320.	Original Article
119	Kiyoyama H, Tanabe M, Hideura K, et al	放射線科	High-precision MRI of liver and hepatic lesions on gadoxetic acid-enhanced hepatobiliary phase using a deep learning technique.	Jpn J Radiol. 2025 Apr ; 43(4):649-655.	Original Article
120	Tanabe M, Kawano Y, Inoue A, et al	放射線科	Image quality in three-dimensional (3D) contrast-enhanced dynamic magnetic resonance imaging of the abdomen using deep learning denoising technique: intraindividual comparison between T1-weighted sequences with compressed sensing and with a modified Fast	Jpn J Radiol. 2025 Mar ; 43(3):455-462.	Original Article
121	Tanabe M, Higashi M, Miyoshi K, et al	放射線科	Breath-hold diffusion-weighted MR imaging (DWI) using deep learning reconstruction: Comparison with navigator triggered DWI in patients with malignant liver tumors.	Radiography (Lond). 2025 Jan ; 31(1):275-280.	Original Article

122	Kiyoyama H, Tanabe M, Higashi M, et al	放射線科	Association of visceral fat obesity with structural change in abdominal organs: fully automated three-dimensional volumetric computed tomography measurement using deep learning.	Abdom Radiol (NY). 2025 Feb 12.	Original Article
123	Higashi M, Tanabe M, Tanabe K, et al	放射線科	Multiparametric Magnetic Resonance Imaging Findings of the Pancreas: A Comparison in Patients with Type 1 and 2 Diabetes.	Tomography. 2025 Feb 7 ; 11(2):16. (オンライン)	Original Article
124	Hideura K, Tanabe M, Higashi M, et al	放射線科	Pancreatic changes in patients with visceral fat obesity: an evaluation with contrast-enhanced dual-energy computed tomography with automated three-dimensional volumetry.	Radiol Med. 2025 Apr ; 130(4):577-585.	Original Article
125	Tanaka H, Ono T, Kajima M, et al	放射線治療科	Monocyte-to-lymphocyte ratio is a prognostic predictor for patients with non-small cell lung cancer treated with stereotactic body radiation therapy.	Rep Pract Oncol Radiother. 2024 Jun 6 ; 29(2):228-235. (オンライン)	Original Article
126	Sueoka K, Kajimura T, Sakai T, et al	産科婦人科	A single institutional clinical outcome for stages III and IV ovarian cancer patients treated with dose-dense TC therapy in the frontline or first platinum-sensitive relapse setting.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Sep ; 50(9):1574-1580.	Original Article
127	Tamura I, Miyamoto K, Hatanaka C, et al	産科婦人科	Nuclear actin assembly is an integral part of decidualization in human endometrial stromal cells.	Commun Biol. 2024 Jul 11 ; 7(1):830. (オンライン)	Original Article
128	Doi-Tanaka Y, Tamura I, Shiroshita A, et al	産科婦人科	Differential gene expression in decidualized human endometrial stromal cells induced by different stimuli.	Sci Rep. 2024 Apr 2 ; 14(1):7726. (オンライン)	Original Article
129	Sakai T, Sato S, Tamehisa T, et al	産科婦人科	Establishment of a 3D spheroid culture system to evaluate the responsiveness of uterine leiomyoma cells to female hormones.	Reprod Med Biol. 2025 Jan 22 ; 24(1):e12627. (オンライン)	Original Article

130	Sadahiro H, Fujitsuku S, Sugimoto K, et al	脳神経外科	Bony Surface-Matching Registration of Neuronavigation with Sectioned 3-Dimensional Skull in Prone Position.	World Neurosurg. 2024 Jul ; 187:236-242.e1.	Original Article
131	Hirayama Y, Kida H, Inoue T, et al	脳神経外科	Focal brain cooling suppresses spreading depolarization and reduces endothelial nitric oxide synthase expression in rats.	IBRO Neurosci Rep. 2024 May 12 ; 16:609-621. (オンライン)	Original Article
132	Fujii N, Nomura S, Izuma H, et al	脳神経外科	Which Theory of Cerebrospinal Fluid Production and Absorption Do Neurosurgeons Teach to Medical Students? Survey from Medical Universities in Japan, 2022.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Jun 15 ; 64(6):241-246.	Original Article
133	Nomura S, Sadahiro H, Inoue T, et al	脳神経外科	Correlation Between Coagulation Parameters and Dense Fibrin Band Configuration in Tough Intracerebral Hematoma in Anticoagulated Patients.	World Neurosurg. 2025 Feb ; 194:123565.	Original Article
134	Oka F, Oku T, Kawano A, et al	脳神経外科	Stepwise Improvement of Cerebral Hemodynamics in Staged Angioplasty for Carotid Artery Stenosis.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2025 Jan 15 ; 65(1):22-28.	Original Article
135	Sugimoto K, Chung DY, Fischer P, et al	脳神経外科	Optogenetic Functional Activation Is Detrimental During Acute Ischemic Stroke in Mice.	Stroke. 2024 Oct ; 55(10):2502-2509.	Original Article
136	Fujiyama Y, Nomura S, Hagi K, et al	脳神経外科	Nail Penetration in the Superior Sagittal Sinus: A Case Report of a Nail Gun Injury.	NMC Case Rep J. 2024 Oct 11 ; 11:279-283. (オンライン)	Case Report
137	Miura D, Suenaga H, Ichihara K	検査部	The Utility of a Novel Stacked Microvascular Imaging for Enhanced Detection of Fibrosis in Chronic Liver Diseases.	Ultrasound Med Biol. 2024 Jul ; 50(7):975-984.	Original Article
138	Miura D, Suenaga H, Hiwatashi R, et al	検査部	Liver fibrosis stage classification in stacked microvascular images based on deep learning.	BMC Med Imaging. 2025 Jan 7 ; 25(1):8. (オンライン)	Original Article

139	Kakugawa T, Mimura Y, Mimura- Kimura Y, et al	呼吸器・感染症内科	Kinetics of pro- and anti-inflammatory spike-specific cellular immune responses in long-term care facility residents after COVID-19 mRNA primary and booster vaccination: a prospective longitudinal study in Japan.	Immun Ageing. 2024 Jun 22 ; 21(1):41. (オンライン)	Original Article
140	Nakamura Y, Yamamoto T, Kobayashi S, et al	第二内科	Concomitant Administration of Dantrolene is Sufficient to Protect Against Doxorubicin-Induced Cardiomyopathy.	JACC CardioOncol. 2024 Dec 10 ; 7(1):38-52. (オンライン)	Original Article
141	Kobayashi K, Ban YSMS, Hiroyoshi T, et al	泌尿器科	The modified R.E.N.A.L. nephrometry score comprising longitudinal tumor localization is better for predicting intraoperative collecting system entry during robot-assisted partial nephrectomy	ASIAN J ENDOSC SURG.2024 APR:17(2):8	Original Article
142	Murakami T, Takemoto Y, Hashimoto M, et al	耳鼻咽喉科学講座	Fish bone foreign body piercing into the carotid artery: Case report	ACTA OTO-LARYNGOL CA.2024 DEC:9(1):5	Original Article

143	Chen C.; Okawa S.; Okubo R.; Hagiwara K.; Mizumoto T.; Higuchi N.; Nakagawa S.; Tabuchi T.	精神科神経科	Mother-to-infant bonding difficulties are associated with future maternal depression and child-maltreatment behaviors: A Japanese nationwide longitudinal study	Psychiatry Research・2024年04月	Original Article
144	Hiroto Matsui, Tatsuya Ioka, Tsuyoshi Takahashi, Toru Kawaoka, Yoshinari Maeda, Noboru Yahara, Hidefumi Kubo, Taku Nishimura, Toshihiro Inokuchi, Eijiro Harada, Yoshitaro Shindo, Yukio Tokumitsu, Masao Nakajima, Taro Takami, Katsuyoshi Ito, Hidekazu Tanaka, Kimikazu Hamano, Hiroaki Nagano	第二外科	Multicenter Prospective Cohort Study of Neoadjuvant Chemotherapy for Borderline Resectable Pancreatic Cancer (YPB-001)	Pancreas・2024年7月	Original Article

計 144件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	矢ヶ部 朗,松井 洋人,新藤 芳 太郎 他	第二外科	腎細胞癌膀胱転移を併存 した膀胱癌の1例	癌と化学療法 ; 2024.12:51:1707-1709	Original Article
2	清水 雅大,藤 本 和弘,鈴木 秀典 他	整形外科	腰椎変性疾患における 前屈位硬膜管圧排増大 例の特徴 Kinematic CTミエログラフィーを用 いて	中国・四国整形外科学会雑 誌 ; 2024.04:36:11-14	Original Article
3	大石 一輔,岡 崎 朋也,今釜 崇 他	整形外科	Taper wedge stemを用 いたTHAにおける術後 早期のステム沈下に関 連する因子の検討	中国・四国整形外科学会雑 誌 ; 2024.09:36:225-228	Original Article
4	小田 龍星,関 万成,関 寿大 他	整形外科	Bi-cruciate stabilized型 人工関節全置換術にお けるPosterior Condylar Offsetの伸展ギャップへ の影響	中国・四国整形外科学会雑 誌 ; 2024.04:36:105-109	Original Article
5	土肥 悠暉,関 寿大,関 万成 他	整形外科	Kloen変法を用いて整 復内固定を行った寛骨 臼骨折の治療経験	整形外科と災害外科 ; 2024.09:73:892-894	Original Article
6	土肥 悠暉,関 寿大,関 万成 他	整形外科	Outside-in法での解剖 学的二重束膝前十字靭 帯再建術における術後 骨孔移動量の検討	整形外科と災害外科 ; 2024.09:73:616-620	Original Article
7	関 寿大,関 万 成,今釜 崇 他	整形外科	人工膝関節置換術・膝 周囲骨切り術における 術後のスポーツ活動	日本人工関節学会誌 ; 2024.12:54:575-576	Original Article
8	岩永 隆太,三 原 惇史,坂井 孝司 他	整形外科	小児白血病初診時の四 肢痛・腰背部痛の検討	整形外科と災害外科 ; 2024.09:73:873-876	Original Article
9	金岡 丈裕,今 釜 崇,岡崎 朋 也 他	整形外科	Machine learningを用 いたGS-Taper stemの適 合性予測	Hip Joint ; 2024.08:50:233- 235	Original Article
10	金岡 丈裕,今 釜 崇,岡崎 朋 也 他	整形外科	機械学習によるステムサ イズ予測モデルの精度 検証	整形外科と災害外科 ; 2024.09:73:452-454	Original Article
11	栗栖 悠樹,藤 井 賢三,油形 公則 他	整形外科	当院における肩甲骨骨 折治療の実態調査	中国・四国整形外科学会雑 誌 ; 2024.04:36:59-63	Original Article
12	古川 惣一,高 須 啓之,八木 献 他	形成外科	大胸筋弁および遊離空 腸による二期再建によ り治療した食道癌術後胃 管気管瘻の1例	日本形成外科学会誌 ; 2024.05:44:211-218	Original Article
13	砂田 潤希,田 邊 美香,秋山 雅人 他	眼科	結膜粘液腫の2例	眼科 ; 2024.07:66:683-687	Original Article

14	金谷 妃呂子, 杉本 至健, 藤尾 信吾 他	脳神経外科	骨破壊を伴い頭蓋咽頭腫との鑑別に難渋したラトケ嚢胞の1例	脳神経外科ジャーナル ; 2024.12:33:864-870	Original Article
15	貞廣 浩和, 井本 浩哉, 杉本 至健 他	脳神経外科	迷走神経刺激術前の超音波を用いた迷走神経の解剖学的評価	Neurosonology ; 2024.04:37:3-7	Original Article
16	藤本 昂也	放射線部	患者個別化放射線治療へ向けた生体力学による機能情報の推定と治療反応予測	放射線生物研究 ; 2024.11:59:226-237	Review
17	瀬川 誠, 飯塚 徳男, 中永 士 師明 他	漢方診療部	全国の医療従事者を対象とした「全国漢方Webテスト」の試み	日本東洋医学雑誌 ; 2024.04:75:101-112	Original Article
18	瀧本 朋代, 馬場 安里, 豊田 貴美子 他	薬剤部	自動散薬調剤ロボットの導入が薬剤師による散薬調剤業務時間に与える影響	日本病院薬剤師会雑誌 ; 2024.12:60:1369-1373	Original Article
19	眞鍋 果歩, 岡田 直人, 馬場 安里 他	薬剤部	医薬品SPD導入が病棟での薬剤師業務に与える影響 分割時系列解析	医療薬学 ; 2024.07:50:366-373	Original Article
20	嶋田 知恵, 小野 聡子, 加藤 真帆 他	看護部	非がん性呼吸器疾患患者のアドバンス・ケア・プランニング 看護師による支援の特徴	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 ; 2024.08:32:364-370	Original Article
21	関矢 法恵, 奥由 佳梨, 三國 恭奈 他	看護部	わが国の切迫早産で入院し早産となった妊産婦の出産体験に関する文献検討	臨床助産ケア: スキルの強化 ; 2024.11:17:50-57	Original Article
22	田原 祥子, 末永 成之, 浜本 佳織 他	第一内科	経乳頭的胆管生検が診断と治療方針決定に有用であった総胆管原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の1例	Gastroenterological Endoscopy ; 2024.08:66:1603-1609	Original Article
23	田部 勝也	第三内科	【血糖降下薬と栄養の関係について】メホルミンの臨床効果と作用機序	日本栄養・食糧学会誌 ; 2024.10:77:327-331	Review
24	太田 康晴	第三内科	体内時計と代謝調節	Diabetes Journal: 糖尿病と代謝 ; 2024.12:51:126-132	Review
25	升井 規晴, 坂本 龍之介, 池創一 他	第一外科	当院におけるLeriche症候群に対するEVTの治療成績	日本血管外科学会雑誌 ; 2024.:33:137-141	Original Article
26	山田 城, 田中 俊樹, 村上 順一 他	第一外科	気胸手術中に偶然発見された肺葉外肺分画症に対して二期的手術を施行した1例	日本内視鏡外科学会雑誌 ; 2024.05:29:218-223	Original Article

27	山田 真理子, 下村 尚子, 岩永 隆太 他	皮膚科	痒疹と腋窩腫瘤を伴った結節硬化型古典的Hodgkinリンパ腫の1例	臨床皮膚科 ; 2024.12:78:1017-1023	Original Article
28	栗栖 卓哉, 下村 尚子, 下村 裕 他	皮膚科	【特異的分布を示す皮膚病】進行性顔面片側萎縮症	皮膚病診療 ; 2025.03:47:220-223	Original Article
29	栗栖 卓哉, 下村 裕	皮膚科	当院の重症円形脱毛症におけるバリシチニブ投与症例の有効性および安全性の検討	西日本皮膚科 ; 2025.02:87:64-68	Original Article
30	馬場 智枝子, 平田 寛, 松本 洋明 他	泌尿器科	腎細胞癌に対する複合免疫療法において異なる機序の急性肝障害を呈した2例	西日本泌尿器科 ; 2024.04:86:237-244	Original Article
31	Ishikawa T, Takami T	第一内科	[Interventional radiology for the treatment of portal hypertension].	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi. 2024 ; 121(5):371-381.	Original Article
32	Koga M	脳神経内科	[Peripheral Neuropathy (Numbness): Role of Neurologists as Primary Gatekeepers].	Brain Nerve. 2024 Aug ; 76(8):947-951.	Original Article
33	Oka F, Ishihara H	脳神経外科	[Spreading Depolarization After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage].	No Shinkei Geka. 2024 Sep ; 52(5):899-905.	Original Article
34	Hirofumi Harima, Harumi Suehiro, Michitaka Kawano, Tadasuke Hanazono, Kenji Mori, Yasuyo Chochi, Taro Takami	消化器内科学講座	[Hemosuccus pancreaticus caused by pancreatic cancer treated with radiation therapy for hemostasis].	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro-enterology	Original Article

計 34件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 目的・適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、（旧：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針）に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について 等	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	61人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高見 太郎	第一内科	科長	26年	内科
佐野 元昭	第二内科	科長	34年	内科
太田 康晴	第三内科	科長	31年	内科
中森 雅之	脳神経内科	科長	27年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	34年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	34年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	26年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	35年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	39年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	39年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	31年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	40年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	30年	眼科
菅原 一真	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	28年	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
白石 晃司	泌尿器科	科長	30年	泌尿器科
石原 秀行	脳神経外科	科長	33年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	37年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	19年	放射線科
山下 敦生	麻酔科蘇生科	准教授	28年	麻酔科
星井 嘉信	病理診断科	科長	35年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	38年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	34年	救急科
油形 公則	整形外科	准教授	29年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	40年	総合診療
高須 啓之	形成外科	科長	19年	形成外科
三島 克章	歯科口腔外科	科長	35年	歯科口腔外科

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【検査部】

< 院内 >

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
LIS 講習会	2024 年 4 月 24 日	45
検査部・輸血部・病理診断科 ISO15189 講習会:危機管理訓練講習会、2024 年度内部監査講評	2024 年 11 月 13 日および 2024 年 11 月 19 日	46

< 院外 >

学会・研修会名	開催日	人数
非結核性抗酸菌症の最新トピックス	2024 年 4 月 10 日	2
脳波検査～電極装着から測定のコツまで～	2024 年 4 月 22 日	3
Fabry Disease Webinar	2024 年 4 月 23 日	2
第 31 回検査血液 Zoom 同好会	2024 年 4 月 25 日	4
第 32 回検査血液 Zoom 同好会	2024 年 5 月 9 日	5
あの学術に聞く いつもの院内勉強会 ONLINE	2024 年 5 月 10 日	3
第 4 回臨床一般セミナー	2024 年 5 月 25 日	3
第 70 回山口県医学検査学会	2024 年 5 月 26 日	5
シスメックスヘモスタシスセミナー凝固基礎教育	2024 年 5 月 30 日	3
第 33 回 関東感染症懇話会	2024 年 5 月 31 日	2
第 33 回検査血液 Zoom 同好会	2024 年 6 月 13 日	4
第 1 回徳臨技心エコー症例検討会	2024 年 6 月 13 日	4
第 1 回心電図判読セミナー	2024 年 6 月 19 日	6
第 1 回輸血に関するオンラインセミナー	2024 年 6 月 20 日	2
USC 研究会	2024 年 6 月 22 日	2
令和 6 年度 国公立大学附属病院感染対策協議会 教育作業部会ブロック別研修会	2024 年 6 月 24 日	2
AS (明日) をつかむ心エコー塾	2024 年 6 月 25 日	2
第 4 回知って安心! 山口でんかん勉強会	2024 年 6 月 29 日	5
第 19 回日本神経生理検査研究会 九州沖縄支部研修会	2024 年 6 月 29 日	2
いつもの院内勉強会 ONLINE	2024 年 7 月 5 日	2
輸血細胞治療部門研修会	2024 年 7 月 6 日	14
肺がん治療における遺伝子検査の基礎知識	2024 年 7 月 9 日	3
第 2 回徳臨技心エコー症例検討会	2024 年 7 月 11 日	4
第 4 回オーソ Web セミナー	2024 年 7 月 11 日	2
第 2 回心電図判読セミナー	2024 年 7 月 17 日	6
2024 年度中国地区 BM ユーザー会	2024 年 7 月 20 日	6
イメージングで学ぶクローン病の Treat to Target	2024 年 7 月 21 日	3

令和6年度山口県臨床検査技師会新人研修会	2024年7月21日	5
山口県臨床検査技師会臨床一般部門研修会	2024年7月28日	7
深在性真菌症診療での non-culture based test の使い方	2024年8月1日	6
第23回 MICRoBE+学術講演会	2024年8月3日	4
第4回 Fan Fun Aplio in 中四国	2024年8月3日	2
イエスカルタ WEB セミナー	2024年8月5日	2
第34回検査血液 Zoom 同好会	2024年8月8日	4
第3回徳臨技心エコー症例検討会	2024年8月8日	4
第10回～第12回尿沈渣 Online QC 報告会	2024年8月17日	2
第3回心電図判読セミナー	2024年8月21日	5
がん薬物療法の概要	2024年8月22日	5
考えてみてわかった!AmoyDx 肺癌マルチケーススタディ・ワークショップ Vol.1	2024年8月22日	4
いつもの院内勉強会 ONLINE～腎症と一般検査～	2024年8月23日	2
検査技師が導く診療支援フォーラム	2024年8月30日	3
第5回膵臓 US エキスパート養成セミナー	2024年8月30日	2
第4回 MUST	2024年8月31日	2
山口県感染症 Expert Seminar～AMRについて考える～	2024年9月5日	6
第35回検査血液 Zoom 同好会	2024年9月5日	5
令和6年度第1回臨床生理(神経生理)部門研修会	2024年9月7日	2
シスメックスユリナリシスセミナー2024 Vol.1	2024年9月7日	2
肝細胞がんオンライン講演会	2024年9月11日	3
シスメックス 尿分野 LIVE カスタマートレーニング(第1回)	2024年9月12日	3
第4回徳臨技心エコー症例検討会	2024年9月13日	3
令和6年度 スキルアップ研修会	2024年9月14日	2
第4回心電図判読セミナー	2024年9月18日	4
シスメックス 尿分野 LIVE カスタマートレーニング(第2回)	2024年9月19日	2
シスメックス Lab マネジメントセミナー⑥～ISO 15189:2022(第4版)移行審査始まる～	2024年9月25日	4
第5回広島血液培養と菌血症サミット	2024年9月30日	2
考えてみてわかった!AmoyDx 肺癌マルチケーススタディ・ワークショップ Vol.2	2024年10月1日	3
虚血性心疾患の心電図変化	2024年10月2日	2
第36回検査血液 Zoom 同好会	2024年10月3日	4
気になる「生理検査」の精度管理	2024年10月6日	7
Clinical Webinar 呼吸器感染症<レジオネラ>	2024年10月15日	5
好酸球性副鼻腔炎製剤ヌーカラ(抗IL-5製剤)	2024年10月17日	2
第1回 Web Study 2024FY	2024年10月17日	6
第11回 関西 POT キット研究会	2024年10月19日	5
TERAKOYA2024 第1回	2024年10月19日	5
心電図の基本項目	2024年10月25日	3
Radiometer70 周年記念講演 BG Webinar2024	2024年10月26日	2
ファブリー病 Web 配信セミナー	2024年10月29日	3
2024年度 第4回 岡山臨床遺伝カンファレンス	2024年11月1日	2
第2回日々の検査データから疾患を読み解く力を身につけよう	2024年11月1日	2
第37回検査血液 Zoom 同好会	2024年11月7日	2
造血幹細胞移植推進地域拠点病院 Web セミナー	2024年11月9日	4
人を対象とする医学系研究等推進セミナー	2024年11月9日	2
ホルター心電図解析装置ハンズオンセミナー	2024年11月9日	5
臨床検査総合部門研修会	2024年11月9日	3

山口消化器内科学セミナー 超音波画像診断の最前線	2024年11月12日	3
Fabry Disease Web Seminar～ファブリー病の早期診断を目指して～	2024年11月13日	2
第5回徳臨技心エコー症例検討会	2024年11月14日	2
バイオ・ラッドラボラトリーズ オンラインセミナー	2024年11月14日	2
微生物検査セミナー'EIKEN'in 中四国	2024年11月16日	4
2024 フクダ電子心電図対策 Webinar	2024年11月16日	3
TERAKOYA2024 第2回	2024年11月16日	5
関東地区 BM セミナー2024	2024年11月20日	4
第5回心電図判読セミナー	2024年11月20日	3
いつもの院内勉強会 ONLINE 意外と身近な HbA1c	2024年11月22日	4
山口県臨床検査技師会臨床検査部門研修会	2024年11月24日	6
日本血液同好会 (第432回)	2024年11月27日	2
Hematology Seminar 血液像検査の将来	2024年11月27日	3
SEKISUI-CSC 基礎セミナー	2024年11月30日	2
令和6年度山臨技 brash up seminar	2024年12月1日	4
一般社団法人山口県臨床検査技師会 臨床一般検査部門研修会	2024年12月1日	2
乳癌患者さんの医療連携を考える会	2024年12月2日	4
山口県臨床検査技師会 生物化学部門研修会	2024年12月7日	6
シスメックスヘモスタシスセミナーWEB セミナー(血液内科領域)	2024年12月9日	3
呼吸機能検査～基礎編～	2024年12月10日	3
シスメックスイムノウェビナーVol.2	2024年12月12日	2
TERAKOYA2024 第3回	2024年12月14日	5
山口県臨床検査技師会臨床血液部門研修会	2024年12月15日	3
第35回山口血液疾患研究会	2024年12月17日	3
第38回検査血液 Zoom 同好会	2024年12月19日	5
第2回Web Study 2024FY	2024年12月19日	6
FeNO：解釈の基本と新展開	2024年12月19日	2
シスメックス フォトトレーニング 2024 髄液細胞数検査	2024年12月20日	2
心電図判読セミナー番外編	2025年1月12日	2
第7回心電図判読セミナー	2025年1月15日	3
シスメックスヘモスタシスセミナー2025 in TOKYO	2025年1月18日	3
TERAKOYA2024 第4回	2025年1月18日	5
山口県臨床検査技師会令和6年度第1回宇部支部 研修会	2025年1月23日	11
山口県臨床検査技師会 臨床血液検査部門研修会	2025年1月25日	7
希少血液疾患講演会 in 九州	2025年1月27日	2
Breast Cancer Seminer in 山口 ～トルカブ錠発売記念講演会～	2025年1月30日	3
第18回香川灯の会-かがわ血液形態カンファレンス-	2025年2月1日	3
がん薬物療法の概要3	2025年2月6日	3
山口県臨床検査技師会画像生理部門 Web 研修会	2025年2月6日	2
全ゲノム解析 報告会	2025年2月7日	2
第3回 Web Study 2024FY	2025年2月13日	4
山口脳腫瘍カンファレンス	2025年2月14日	3
神経生理の検査手技・生理検査の精度管理	2025年2月16日	2
最新の肺癌治療戦略と検査選択	2025年2月18日	3
第8回心電図判読セミナー	2025年2月19日	2
SARAYA 感染対策 Zoom ウェビナー	2025年2月20日	4
ヘムライブラ適正使用を考える会-血友病患者の合併症マネジメント-	2025年2月20日	4
山口県臨床検査技師会令和6年度第2回宇部支部研修会	2025年2月21日	11

山口県 CAR T 細胞療法セミナー	2025 年 2 月 21 日	3
シスメックス敗血症セミナー	2025 年 2 月 21 日	4
シスメックス凝固セミナー in 山口	2025 年 2 月 22 日	5
イエスカルタ全国 Web 講習会	2025 年 2 月 26 日	2
山口県臨床検査技師会生物化学分析部門 WEB 研修会	2025 年 2 月 27 日	4
第 11 回 GC 研究会	2025 年 3 月 1 日	4
第 16 回 LAMP 研究会	2025 年 3 月 1 日	2
令和 6 年度肝炎市民公開講座	2025 年 3 月 3 日	2
シスメックスユリナリスセミナー 2024 Vol.3	2025 年 3 月 8 日	4
微生物フォーラム EIKEN 2025	2025 年 3 月 8 日	4
免疫検査セミナー'EIKEN' in 西日本	2025 年 3 月 8 日	2
第 40 回検査血液 Zoom 同好会	2025 年 3 月 13 日	3
第 11 回道場山本のちょっと！これっ教えて♡	2025 年 3 月 13 日	4
いつもの院内勉強会 ONLINE	2025 年 3 月 14 日	2
第 13 回瀬戸内血液研修会	2025 年 3 月 15 日	4
がん薬物療法の概要 4	2025 年 3 月 21 日	3
第 4 回一般腎機能検査研究会 尿沈渣サーベイオンライン解説会	2025 年 3 月 26 日	3

【薬剤部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(病院薬剤師の役割、薬剤部の構成、オリエンテーション)	2024/4/2	4
新人教育研修(薬剤部紹介)	2024/4/2、3	4
新人教育研修(講義:調剤)	2024/4/3、4、5、8	4
新人教育研修(講義:注射調剤)	2024/4/9、10、11、12	4
新人教育研修(講義:医療安全)	2024/4/16	4
新人教育研修(講義:情報セキュリティ)	2024/4/12	4
新人教育研修(講義:薬務)	2024/4/15	4
新人教育研修(講義:麻薬・薬品管理)	2024/6/25	4
新人教育研修(講義:治験)	2024/6/26	4
新人教育研修(講義:DI)	2024/6/27	4
新人教育研修(講義:製剤)	2024/6/28	4
薬物治療勉強会(腎・泌尿器疾患)	2024/6/13	14
薬物治療勉強会(免疫疾患)	2024/7/22	13
薬物治療勉強会(感覚器疾患)	2024/8/8	11
薬物治療勉強会(呼吸器疾患)	2024/9/12	16
薬物治療勉強会(血液・造血器疾患)	2024/10/10	12
薬物治療勉強会(産婦人科疾患)	2024/11/14	14

薬物治療勉強会(内分泌疾患)	2024/12/12	10
薬物治療勉強会(循環器疾患)	2025/1/16	12
薬物治療勉強会(消化器疾患)	2025/2/13	13
薬物治療勉強会(がん薬物療法)	2025/3/13	16

【放射線部】

研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
Cyber MRI Basic	2024/4/9	3
NET Web Seminar 2024	2024/4/10	6
第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会	2024/4/11-4/14	6
第 12 回根本塾	2024/4/26	5
鳥取県 CI テクノロジーフォーラム	2024/4/26	5
北海道 MAGNETOM 研究会	2024/5/11	2
第 13 回九州 CT 研究会	2024/5/11	4
キャノン CT アカデミー	2024/5/16-23	3
第 61 回山陽核医学カンファレンス	2024/5/22	4
キャノン MR ユーザーセミナー	2024/5/25	3
バイエル画像診断 Web カンファレンス	2024/5/28	4
バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2024/5/30	16
第 3 回日本心臓 CT 技術研究会	2024/6/1	2
AIMS Cardiac Imaging 2024	2024/6/1	1
第 4 回 ViPS	2024/6/12	2
第 4 回 ViPS~Vitrea Perfusion Seminar~	2024/6/12	5
東京 MAGNETOM 研究会	2024/6/15	2
山口 MAGNETOM 研究会	2024/6/22	8
日本核医学技術学会第 36 回中国・四国地方会	2024/6/22~23	6
ゲルベジヤパン WEB セミナー	2024/6/26	5
第 18 回山口 CT UPDATE seminar	2024/6/29	15
第 25 回日本放射線技術学会中国四国支部 夏季学術大会	2024/7/6-7/7	20
バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2024/7/8	5
第 37 回多摩医用デジタル研究会	2024/7/11	2
第 31 回ももたろう CT イメージングセミナー	2024/7/13	2

神奈川 MRI 技術研究会	2024/7/15	5
米国医学物理学会学術大会(AAPM)	2024/7/21-7/25	1
TAVI Medical staff Talking Times	2024/7/23,30	1
WEB セミナー_GUERBETV	2024/7/24	2
NET Web Seminar 2024	2024/7/29	5
第 38 回山陰核医学研究会	2024/7/30	1
バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2024/7/31	22
第 45 回山口県放射線治療研究会	2025/8/3	10
バイエル画像診断 Web カンファレンス	2024/8/21	5
NET Web Seminar 2024	2024/8/22	3
GE DWIBS 研究会	2024/8/24	3
第 5 回コニカミノルタジャパン DDR 技術セミナー	2024/8/29	1
PET サマーセミナー-2024 in 高松	2024/8/30~9/01	2
山口 MR 撮像技術研究会	2024/8/31	8
第 9 回中国 SOMATOM 研究会	2024/9/4	7
イオプロミド注[BYL] WEB カンファレンス	2024/9/6	5
Cyber MRI Jump	2024/9/12	3
富士フィルムメディカル EXPANDING SOLUTION EXHIBITION FUKUOKA	2024/9/13-9/14	1
第 40 回ブレイン・ファンクション・イメージング・カンファレンス	2024/9/14	1
乳がん WEB イメージングセミナー	2024/9/18	2
脳卒中後てんかん Web セミナー	2024/9/20	1
日本磁気共鳴医学会	2024/9/20-22	1
FUJIFILM エクセレントカンファレンス	2024/9/22	5
第 20 回山口乳腺画像研究会	2024/9/28	2
第 5 回 GE HealthCare Mammography Webinar	2024/09/04-10/16	1
Cyber MRI Basic	2024/9/26	4
第 14 回 SIEMENS NM&MI ユーザーズミーティング	2024/10/3	3
第 25 回 熊本核医学技術研究会	2024/10/5	2
レビー小体病診断 WEB セミナー	2024/10/17	2
第 20 回中四国放射線医療技術フォーラム	2024/10/19-20	24
第 4 回山口県放射線治療セミナー	2024/10/25	6
ゲルベジャパン WEB セミナー	2024/10/30	5
広島アミロイド PET 講演会	2024/10/31	1

第1回日本放射線医療技術学術大会	2024/10/31-11/3	2
北海道 MAGNETOM 研究会	2024/11/9	3
核医学の都市伝説 Vol.8 『FBP とアンダーシュートアーチファクトの不思議な関係』	2024/11/13	1
令和6年度 死亡時画像診断(Ai)研修会	2024/11/13-2025/2/5	2
第63回 CT テクノロジーWeb 勉強会	2024/11/14	2
神奈川 MRI 技術研究会	2024/11/15	6
CT 塾オンラインセミナー	2024/11/20	5
第141回高速 X 線 CT 研究会	2024/11/21	3
第28回 全国 X 線撮影技術読影研究会 in 宮城	2024/11/23-24	1
第17回日本心臓核医学会中国四国地区地域別教育研修会	2024/11/23	2
第1回山口ふくふく CT セミナー	2024/11/23	15
山口大学消化器内科学セミナー ～NET 診療の新戦略～	2024/12/2	2
第15回根本塾	2024/12/5	8
Nuclear Image Training Course	2024/12/10	1
日本オートプシーイメージング技術学会 学術講演会	2024/12/11	1
第39回山口県核医学技術検討会	2024/12/12	5
第23回 CT テクノロジーフォーラム	2024/12/14	6
ゲルベジャパン WEB セミナー	2024/12/16	6
RSNA2024 Flash Seminar	2024/12/25	5
WEB 版 IN VIVO 講習会 「核医学・タスクシフト編」	2025/01/15,22,29	1
Radiology Today in Setouchi 11th Theme:核医学治療	2025/1/17	1
国立大学病院放射線技師会 第7回学術サミット研修会	2025/1/17-1/18	1
FUJIFILM MEDICAL MAMMOGRAPHY SEMINAR 2025 マンモグラフィ～トモシンセシステムを考える～	2025/1/25	5
第74回九州核医学 PET 研究会	2025/1/25	1
山口 MAGNETOM 研究会	2025/1/25	8
バイエル WEB カンファレンス	2025/1/27	8
第4回やまぐち維新 CT Conference	2025/2/1	15
第1回全国 FUJIFILM CT User's meeting	2025/2/1	2
第50回ニュータウンカンファレンス	2025/2/2	1
NET Web Seminar 2025	2025/2/3	7
CT 塾オンラインセミナー	2025/2/6	12
山口 MR 撮像技術研究会	2025/2/8	6
第38回多摩医用デジタル研究会	2025/2/13	2

CT 塾オンラインセミナー	2025/2/18	7
コニカミノルタジャパン DDR 技術セミナー	2025/2/22	1
Cyber MRI Basic	2025/2/27	2
第 7 回山口核医学学術講演会	2025/2/27	2
バイエル WEB カンファレンス	2025/2/28	6
Breast Care 画像診断 最新情報セミナー	2025/3/7	1
第 46 回山口県放射線治療研究会	2025/3/8	5
山口県診療放射線技師会 2024 年度 乳がん部会講習会	2025/3/9	5
Cyber MRI Jump	2025/3/13	2
根本塾	2025/3/14	7
第 5 回山口県放射線治療セミナー	2025/3/14	5
20th CT Technology Fukuyama Seminar CT 塾 & Cyber DECT Collaboration Festival	2025/3/15	8
第 19 回兵庫県学術研修フォーラム	2025/3/19	4
心筋血流 SPECT プロトコル研究会	2025/3/19	1
第 6 回九州・山口トモセラピーユーザーフォーラム	2025/3/22	3
Web 講演会『アキュミン静注が変えるグリオーマ診断 アミノ酸 PET 検査の活用』	2025/3/24	2
ゲルベジャパン WEB セミナー	2025/3/26	10

【看護部/対象：新人】

研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数	
		新人	既卒
新採用者研修・オリエンテーション	2024/4/1, 2, 3, 4,	65	7
医療安全に関する研修 I（60 分）	2024/4/5	65	7
電子カルテシステム	2024/4/8, 9	65	6
静脈注射知識編 I 安全対策と事故防止（60 分）	2024/4/10	65	7
静脈注射知識編 I 静脈注射に用いる薬剤の知識と管理（90 分）	2024/4/10	65	7
静脈注射知識編 I 感染管理の考え方と防止の方法（50 分）	2024/4/5	65	7
静脈注射知識編 I 静脈注射を受ける患者の看護（35 分）	2024/4/10	65	7
静脈注射知識編 I 静脈注射に必要な解剖生理と合併症（50 分）	2024/4/10	65	7
褥瘡予防ケア（45 分）	2024/4/11	65	6

静脈注射知識編Ⅱ～Ⅳ（2023年度版）	2024/4/17, 19	0	8
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2024/4/17	65	7
防火教育・訓練	2024/6/10	62	8
メンタルヘルスⅠ	2024/4/23	65	0
看護記録Ⅰ	2024/4/23	65	4
酸素吸入療法	2024/5/15	65	2
静脈注射知識編Ⅱ①インスリン	2024/5/17	65	1
2ヶ月のふりかえり	2024/6/4	63	8
医材の取り扱い	2024/6/19	63	9
重症度、医療・看護必要度研修（新人）	2024/7/29	64	7
静脈注射知識編Ⅱ②（45分×2） 「麻薬・ハイリスク薬等の知識と管理」	2024/9/6, 10	64	3
静脈注射知識編Ⅲ 「がん薬物療法の知識と管理」（45分）	2024/10/8, 16	63	4
静脈注射知識編Ⅳ 「輸血の知識と管理」（45分）	2024/10/8	63	4
6ヶ月のふりかえり	2024/10/11	62	0
看護に必要な倫理（60分）	2024/10/31, 11/6	64	5
逝去時の看護（50分）	2024/12/2	61	8
医療安全に関する研修Ⅱ（60分） リスク感性を高めようKYT（危険予知トレーニング）	2025/1/15	60	4
人工呼吸器の基礎知識（60分）	2025/2/7	60	7
1年目のふりかえり	2025/3/7	60	0
新人技術演習①感染対策・清潔操作（90分）	2024/4/5	65	7
新人技術演習②体位変換・移送・移乗（45分）	2024/4/11	65	1
新人技術演習③輸液管理	2024/4/13	65	1
新人技術演習④ 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	2024/4/13	65	1
サポート研修/コミュニケーション	2024/4/13	65	1
新人技術演習⑤ 静脈血採血	2024/5/11	65	1

新人技術演習⑥ 導尿・膀胱留置カテーテル挿入と管理、浣腸	2024/5/11	65	1
サポート研修/社会人基礎力	2024/5/11	65	1
新人技術演習⑦ 吸引・吸入	2024/5/25	65	1
新人技術演習⑧ 皮内注射・皮下注射・筋肉内注射	2024/5/25	65	1
メンタルヘルスⅡ	2024/5/25	65	0
新人技術演習⑨ 経管栄養管理	2024/6/15	64	3
新人技術演習⑩ 多重課題シミュレーション	2024/6/15	64	3
新人技術演習⑪ 心電図モニター・12誘導	2024/6/15	64	4
新人技術演習⑫ 静脈留置針の挿入Ⅰ	2024/7/3	64	2
新人技術演習⑫ 静脈留置針の挿入Ⅱ	別紙	64	3
新人技術演習⑬ フィジカルアセスメントⅠ	2024/7/17	63	3
新人技術演習⑭ 急変対応を学ぶ	2024/7/31	64	5
新人技術演習 フォローアップ研修（2日間）	2024/12/5, 6	61	0
【看護部/対象：ラダーⅡを目指す人】			
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数	
静脈注射知識編Ⅴ （インシデント・CVポート）	2024/6/12	84+2	
フィジカルアセスメントⅡ	2024/7/19, 8/9	42+41	
チームワークで問題解決！	2025/1/24, 2/3	40+40	
フィジカルアセスメントⅢ	2024/8/2, 8/28	29+27	
倫理的であたかな対応って、 どうしたらいいの？	2024/10/28, 11/20	26+31	
リフレクション	2025/1/31, 2/5	29+26	
倫理的であたかな対応って、 どうしたらいいの？（2023年度未開催分研修）	2024/6/3	25	
【看護部/対象：ラダーⅢを目指す人】			
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数	
プリセプター研修②	2024/6/21	39	

プリセプター研修③	2024/9/9, 13	38
プリセプター研修④	2025/2/14, 19	39
プリセプター研修①（2025年度）	2025/3/11, 19	41
クリティカルケア院内研修	1月～2月	19
ケア時に気づきたい！ 摂食嚥下障害と口腔ケア	2024/8/30	22
ケアにおけるリーダーシップ	2024/9/4	28
【看護部/対象：ラダーⅣを目指す人】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう① 講義	2024/7/26	25
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう② 演習	2024/8/27	23
これからの入退院支援 ～退院に向けたカンファレンスの実際～	2024/10/29	21
臨床の知 ～ナラティブで看護を振り返る～	2024/12/13	18
看護研究 講義①	2024/6/10～6/24	18
看護研究 講義②	2024/7/1～7/15	13
看護研究 演習①テーマで悩んでいる人	2024/9/18	9
看護研究 講義③	2024/9/27	15
看護研究 講義④	2024/10/16	13
看護研究 演習② 研究計画書作成に悩んでいる人	2024/12/18	10
看護研究 講義⑤	2024/12/23	9
【看護部/対象：ラダーⅣ・Ⅴを目指す人】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
現場で活かせるファシリテーションスキル	2024/6/7	22
フィジカルアセスメントⅣ	2024/10/30	19
意思決定を支援するスキル	2025/1/29	21+院外5人

人を育てるとは	2024/10/18	25+院外 4 人
【看護部/対象：ラダーVを目指す人】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
院内看護管理入門研修① 組織管理論	2024/5/15	15+院外 21
院内看護管理入門研修② 人材管理 I /人材育成の基礎知識	2024/6/4	49+院外 28
院内看護管理入門研修③ 人材管理 I /労務管理の基礎知識	2024/7/17	15+院外 21
院内看護管理入門研修④ 質管理 I	2024/8/21	15+院外 20
院内看護管理入門研修⑤ 人材管理 I /看護チームマネジメント	2024/9/19	44+院外 24
院内看護管理入門研修⑥ 資源管理 I	2024/10/16	15+院外 20
院内看護管理入門研修⑦ ヘルスケアシステム論 I /社会保障制度概論、保健医療福祉サービスの提供体制	2024/11/20	15+院外 19
院内看護管理入門研修⑧ ヘルスケアシステム論 I /ヘルスケアサービスにおける看護の役割	2024/12/18	15+院外 20
【看護部/対象：全看護師】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
2024 年度 看護部の取り組み	2024/5/21～6/4 e-ラーニング	全看護師
2024 年度 看護部の取り組み ～中間の振り返りについて～	2024/11/7	全看護師
AYA 世代のがん患者の看護	2024/8/5	59
臨床推論	2024/10/8	59+院外 7
認知症を持つ人の理解と関わり方	2024/12/3	177
看護の未来をつくるのは私たち	2025/2/22	65+院外 21
報告会	2025/2/5	91
第 100 回院内看護研究発表会・活動報告会	2025/3/8	185+院外 1
看護補助者との協働促進のための研修	2024/11/11、12	822
静脈注射教育プログラムブラッシュアップ研修 (5 年毎受講)	6 月～2 月	689
C V ポート実践看護師研修	4 月 1 日～	44

CV ポート指導看護師研修（講義）	4月1日～	3
CV ポート実践看護師技術演習 1回目	2024/8/7	22
CV ポート実践看護師技術演習 2回目	2025/1/17	22
CV ポート実践看護師修了試験 1回目	2024/8/20、21	22
CV ポート指導看護師修了試験 1回目	2024/8/20	3
CV ポート実践看護師修了試験 2回目	2025/1/27、28	22
CV ポート指導看護師修了試験 2回目	2025/1/17	0
がん薬物療法実践看護師教育プログラム レベルⅡ（全4回コース）	4月1日～	69
がん薬物療法実践看護師教育プログラム レベルⅢ（全7回コース）	4月1日～	25
がん薬物療法実践看護師認定試験 1回目	2024/5/20	19
がん薬物療法実践看護師認定試験 2回目	2024/8/22	23
がん薬物療法実践看護師認定試験 3回目	2024/11/15	33
がん薬物療法実践看護師認定試験 4回目	2025/2/6	19
院内 ICLS 研修	2024/5/14	9
院内 ICLS 研修	2024/6/6	10
院内 ICLS 研修	2024/7/9	10
院内 ICLS 研修	2024/8/8	9
院内 ICLS 研修	2024/9/10	9
院内 ICLS 研修	2024/10/17	8
院内 ICLS 研修	2024/11/12	9
院内 ICLS 研修	2024/12/12	9
院内 ICLS 研修	2025/1/7	9
院内 ICLS 研修	2025/2/6	10
院内 ICLS 研修	2025/3/4	10
アドバンスドチームミニレクチャー 行動制限最小化看護、本院における身体行動制限の現状報告	2024/7/22	93

アドバンスドチームミニレクチャー がんゲノム第二弾！事例からみえてくる看護と病理検査	2024/9/25	59
アドバンスドチームミニレクチャー がん×脳卒中 Stroke Oncorogy～悪性腫瘍と脳卒中の関連について～	2024/11/22	98
アドバンスドチームミニレクチャー スキンケア用品の選び方、使い方 明日から役に立つ耐性菌と関せん対策について	2025/1/29	123
【看護部/対象：管理者】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
看護師長研修「段取りを力を高める看護管理」	2024/6/29	32
看護師長・副看護師長研修 労務管理【オンデマンド研修】	8月～9月	98
副看護師長研修	2024/9/21	57人+管理室5人
昇任者研修・オリエンテーション	2025/3/3,4	12
【看護部/対象：その他】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	2024/5/8, 5/9～6/30e-ラーニング	667
重症度、医療・看護必要度	2024/8/1	全看護師
【看護部/対象：看護補助者】		
研修名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
看護補助者①医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解看護補助者の役割	2024/4/19	95
看護補助者②感染対策防止策	2024/5/31	97
看護補助者③医療安全	2024/7/5	100
看護補助者（助手）研修 技術練習	2024/11/29	74+補講 4
看護補助者④一次救命処置	2024/12/20	91+補講 10
看護補助者⑤ふりかえり	2025/2/21	89

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【放射線部】

研修名
令和6年度原子力災害医療中核人材技能維持研修
令和6年度原子力災害医療中核人材研修
第55回全国国立大学法人放射線診療部門会議
令和6年度国公立大学病院医療技術関係職員研修
アイソトープ内用療法講習会 Lu-177 注射液を用いた 核医学治療の安全取扱講習会
令和6年度大規模地震時医療活動訓練
令和6年度山口宇部空港消防救難訓練

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

【放射線部】

- ・研修の主な内容 第44回 大塚ゼミ 放射線技術の向上を目的とした各種講演等
- ・研修の期間・実施回数 2025/1/11-12
- ・研修の参加人数 92名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 本院における安全管理に関する基本的考え方について ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、副病院長（医療の質・安全担当）を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置すると安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品、医療機器及び診療用放射線の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」及び「医療放射線安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネージャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 (2) 医療事故防止に関すること。 (3) 医療訴訟の対策に関すること。 	

(4) 院内死亡事例に関すること。

2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。

3. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修の内容（すべて）：

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2024/9/2 ～ 2024/9/30	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査結果報告」 「医薬品の安全管理について」 「MR 検査室への金属持ち込みによる危険性」 「医療機器の安全管理について」 「当院におけるインシデント報告について～患者誤認を中心として～」	医師 GRM 薬剤師 GRM 主任放射線技師 臨床工学技士	1875 人 (e ラーニング、DVD 貸し出しを含む)
2025/1/31	全職員	「一人ひとりの健康と安心の探求と実現」をめざして」	学外講師	2240 人 (対面講習、e ラーニング、DVD 貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(インシデント・アクシデント報告の分析・検討)

- ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。

- ・ オカレンス報告を増やすため、報告様式を簡素化し、手術時のサインアウトにオカレンスの有無についてのチェック項目を追加した。

- ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

(院内死亡事例報告の検証)

- ・診療科は医療の質・安全管理部へ速やかに死亡事例の報告をし、医療の質・安全管理部でも毎日死亡事例を抽出し、速やかにスクリーニングを行う。情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針 																
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防対策の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 病院内の感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること 																
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： 																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">研修内容</th> <th style="width: 15%;">研修日</th> <th style="width: 15%;">対象者</th> <th style="width: 15%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院における感染対策について 当院における抗菌薬適正使用支援活動について</td> <td>Web 受講のみ 2024/5/13～ 2024/6/14 DVD 講習 2024/5/13～ 2023/6/14</td> <td style="text-align: center;">全職員</td> <td>感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢</td> <td style="text-align: center;">2,199 人</td> </tr> <tr> <td>医療従事者が知っておきたいワクチン</td> <td>2025/1/20 Web 講習 2025/1/27～ 2025/2/20 DVD 講習 2025/1/27～ 2025/2/20</td> <td style="text-align: center;">全職員</td> <td>高知大学医学部 臨床感染症学講座 山岸 由佳 教授</td> <td style="text-align: center;">2,186 人</td> </tr> </tbody> </table>		研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数	当院における感染対策について 当院における抗菌薬適正使用支援活動について	Web 受講のみ 2024/5/13～ 2024/6/14 DVD 講習 2024/5/13～ 2023/6/14	全職員	感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢	2,199 人	医療従事者が知っておきたいワクチン	2025/1/20 Web 講習 2025/1/27～ 2025/2/20 DVD 講習 2025/1/27～ 2025/2/20	全職員	高知大学医学部 臨床感染症学講座 山岸 由佳 教授	2,186 人
研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数												
当院における感染対策について 当院における抗菌薬適正使用支援活動について	Web 受講のみ 2024/5/13～ 2024/6/14 DVD 講習 2024/5/13～ 2023/6/14	全職員	感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢	2,199 人												
医療従事者が知っておきたいワクチン	2025/1/20 Web 講習 2025/1/27～ 2025/2/20 DVD 講習 2025/1/27～ 2025/2/20	全職員	高知大学医学部 臨床感染症学講座 山岸 由佳 教授	2,186 人												
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。 																

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況				有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況				年 26 回
・ 研修の主な内容：				
研修日	対象者	研修内容		参加者数
2024. 4. 1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の概要について	副薬剤部長	122
2024. 4. 10	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の知識と管理	薬剤主査	72
2024. 4. 10	新採用看護師	内服薬・貼付剤・外用薬の知識	薬剤主査	72
2024. 5. 7	院内各部門感染リンクスタッフ	消毒について	ICT 担当薬剤師	46
2024. 5. 13～ 2024. 6. 14	全職員	当院における抗菌薬適正使用支援活動について	AST 専従薬剤師	
2024. 5. 13	脳神経外科看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	16
2024. 5. 15	全職員	当院におけるがん薬剤師外来と地域の薬局との連携	薬剤主査	20
2024. 6. 18	検査診療部看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	薬剤主査	8
2024. 6. 20	A6, 産科, MFICU 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	40
2024. 6. 24～ 2024. 7. 29	新採用医師・中途採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	94
2024. 7. 12	B6 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	16
2024. 7. 17	B5 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	18
2024. 8. 21	B7 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	11
2024. 8. 22	研修医	医薬品使用時の安全管理	薬剤主査	17
2024. 8. 23	B10 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	14
2024. 8. 28	A9 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	9
2024. 9. 2～ 2024. 9. 30	全職員	医薬品の安全管理について	薬剤師 GRM	1801
2024. 9. 6, 9. 10	新採用看護師	ハイリスク注射薬の知識と管理	薬剤主査	66
2024. 9. 6, 9. 10	新採用看護師	麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理	薬剤主査	66
2024. 10. 11	手術部 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	28
2024. 10. 17	A8 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	13
2024. 10. 22	外来棟看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	薬剤主査	23

2024. 11. 21	A6, NICU, GCU 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	23
2024. 11. 25	A3 看護師	麻薬及び覚醒剤原料の取扱い	病棟担当薬剤師	51
2025. 3. 4	感染対策リンクスタッフ	抗菌薬適正使用について Part2	AST 専従薬剤師	40
2025. 3. 19	A7 看護師	麻薬および覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	15

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (有 ・ 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - 1) 医薬品の採用に関する事項
 - 2) 医薬品の購入・管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理)
 - 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項
 - 4) 患者に対する服薬指導に関する事項
 - 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い
 - 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
 - 7) 他施設 (病院、薬局等) との連携に関する事項
 - 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
 - 9) 薬剤投与のための機器使用
 - 10) 放射線医薬品の管理
 - 11) 臨床検査薬の管理
 - 12) 造影剤の管理、使用
 - 13) 院内製剤の取扱いについて
 - 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
 - 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：

2.5%グルコン酸カルシウムゼリー：フッ化水素による化学熱傷治療目的
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものに関する情報については、医療情報部と連携し、病院情報端末機トップページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための「不眠時指示の睡眠導入剤使用フローチャート」を作成し、医療の質・安全管理部ホームページから確認できるようにしている。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
 - (10) 調剤時には、原則バーコードリーダー照合により、処方薬の正しい交付を確認している。
 - (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。
 - (12) 内服・外用調剤監査時に必要に応じて画像鑑査システムを使用し誤調剤を防止している

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無			
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 40 回			
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 新しい医療機器導入時の研修</p>				
機器名	機種名	導入診療科 (部)名	開催日	受講者 (人)
気道過敏性測定装置	アストグラフ	検査呼吸器内科	令和6年4月22日	12
ビルメーター	ビルメーターF	A-6	令和6年5月8日	5
閉鎖式保育器	ATOM	NICU	令和6年5月16日	27
リードレスペースメーカー	Micra AV2/VR2	B-1	令和6年5月20日	10
経頭蓋治療用磁気刺激装置	NeuroStar TNS 治療装置	精神科・神経科	令和6年5月28日	3
高気圧酸素治療装置	BARA-MED EX	高気圧酸素治療室	令和6年6月20日	16
汎用人工呼吸器	SERVO-n	NICU	令和6年6月20日	23
外科手術用超音波画像診断装置	bkActiv	手術部	令和6年9月24日	2
汎用超音波画像診断装置	フィブrosキャン 630	腹部エコー室	令和6年9月26日	10
心臓用カテーテル用検査装置	CART03	心カテ室	令和6年10月17日	12
半自動除細動器	ZOLL AED Pro	A-6	令和6年11月7日	17
Navitor TAVI System	Navitor TAVI System	第二内科	令和6年11月11日	7
新生児・小児用人工呼吸器	ファビアン NIV	NICU	令和6年11月15日	23

定置型乳児用放射加湿器	サフラーウォーム	A-6	令和6年11月20日	5
手術用外視鏡システム	ORBEYE	手術部	令和6年11月22日	7
植込み型補助人工心臓システム	HeartMate Touch	ME 機器管理センター	令和6年12月2日	14
蛍光観察カメラシステム	A1-0618	第一外科	令和6年12月24日	3
高周波手術装置		手術部	令和7年2月10日	1

(2) 特定機能病院指定の定期研修

機器名	開催日	内容	受講者数(人)
人工心肺装置	Moodle	2004年度 人工心肺装置研修	137
補助循環装置	Moodle	2024年度 ECMO 研修	183
	Moodle	2024年度 補助循環研修	163
	Moodle	2024年度 補助循環トラブルシューティング研修	118
人工呼吸器	Moodle	2024年度 人工呼吸器1研修	370
	Moodle	2024年度 人工呼吸器2研修	342
	Moodle	2024年度 ポータブル人工呼吸器研修	223
	Moodle	2024年度 NPPV・NHF 研修	240
	Moodle	2024年度 人工呼吸器トラブルシューティング研修	232
血液浄化装置	Moodle	2024年度 透析研修	179
	Moodle	2024年度 アフェレーシス研修	144
	Moodle	2024年度 CHDF 研修	146
除細動装置	Moodle	2024年度 除細動器1研修	540
	Moodle	2024年度 除細動器2研修	498
	Moodle	2024年度 除細動器トラブルシューティング研修	369
閉鎖式保育器	Moodle	2024年度 閉鎖式保育器研修	112

	Moodle	2024年度 閉鎖式保育器トラブルシューティング研修	101
	対面	5/16の対面研修	4

(3) 放射線部研修

研修名称	研修内容	開催日	受講者(人)
放射線部研修 (対象:医師及び放射線技師)	高エネルギー発生装置	令和6年7月1日	20
	RALS	令和6年8月5日	20
	高エネルギー発生装置	令和7年1月17日	19
	RALS	令和7年2月21日	19

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :

人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注)
除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、
低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置、ネブライザを定期点検(院内)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば) :

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知
不定期に「MEだより」を発行

--

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者に「医療の質・安全担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（5名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部 DI センターで関連書類を管理している。昨年度は「最重要」、「重要」に該当する事例はなかった。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスクBは必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスクCは患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、電子カルテおよび薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：医療の質・安全管理部 ， 職種：薬剤師 ）</p> <p>（所属：薬剤部 DI センター ， 職種：薬剤師 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：侵襲性の高い診療行為（手術等）について、インフォームド・コンセントの記録の確認を行い、インフォームド・コンセント専門部会、診療情報管理委員会で報告し、是正を勧告している。また、多職種で実施している診療録等の質的点検及び院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>1) 診療録等の量的点検 全退院患者を対象に診療情報管理士による量的点検を実施し、診療録情報管理委員会、QI センター会議で報告するとともに、点検結果から課題を把握し、質的点検を行うことで、診療記録の改善につなげている。</p> <p>2) 診療録等の質的点検 様々な視点で相互に記録の確認を行うため、多職種（7 職種）で質的点検を実施している。診療情報管理委員会、QI センター会議で報告するとともに、各診療科へ点検結果のフィードバックを行い、診療録等の適切な記載や質の向上に努めている。また、重要度の高い指摘項目がある診療科については必要に応じてラウンドを実施するなどし、診療録等記載の改善に努めている。</p> <p>3) 多職種による診療録等監査 入院から退院までの一連のプロセスにおいて、患者へのアプローチや適切な記載の有無について多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上に繋げる『院内ケアプロセス調査』を実施している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（16）名 うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（5）名</p>	

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（4）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。
- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。
- (15) 医療の質・安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談数及び相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録すること。
- (16) 医療の質・安全管理委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等と、医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスを週1回程度開催すること。
- (17) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）

- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 205 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 28 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月1回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：長崎大学病院））
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：佐賀大学医学部附属病院））
- ・技術的助言の実施状況

（助言1【医薬品・未承認新規医薬品等】）

KGLの院内統一運用ルールがリスク管理上有用だと考える。

定期開催の併用を検討することで、早めに診療科からの相談や申請につながる可能性があると思われる。

費用面も含めた検討が医療上のメリットとともに話し合う機会が導入委員会であるのもよいと思われる。

（対応1）

令和7年度より、院内で高濃度カリウム注射剤適正使用WGを開催し、カリウムの院内統一ルールを策定中である。

（助言2【高難度新規医療技術】）

○IC、手術部等の委員会へ審議しないため、導入までがスムーズではあるが、一方で医療の質・安全管理部の負担が大きいことが危惧される。

（対応2）

令和7年度より、医師GRMを1名増員し、負担軽減を図っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに準じ、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。

また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2024/4/1	新人看護師	「新採用者オリエンテーション： 病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	71 人
2024/4/5	新採用者看護師	医療安全に関する研修 I	看護師 GRM	72 人
2024/4/10	新採用看護師	静脈注射知識編 I 「安全対策と事故防止」	看護師 GRM	72 人
2024/4/10	新採用看護師	静脈注射知識編 I 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識と 管理」	医師 GRM	72 人
2024/4/17	新採用看護師	内服薬、貼付剤、外用薬の知識	看護師 GRM 補佐	72 人
2024/6/12	2024 年度採用 看護師と希望 者	静脈注射知識編 V 「静脈注射にまつわるインシデント」	看護師 GRM	86 人
2024/6/24	新規（中途）採 用医師	「医薬品に関わるルール」 「当院の医療安全体制とその実際」	医師 GRM 薬剤師 GRM 等学内講 師	89 人（e ラーニング、 VTR 講習会、DVD 貸 し出しを含む）
2024/7/5	看護補助者、ク ラーク	看護補助者研修 「医療安全」	看護師 GRM	100 人
2024/9/2	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査 結果報告」 「医薬品安全管理について」 「MR 検査室への金属持ち込みによる危 険性」「医療機器の安全管理について」 「当院におけるインシデント報告につ いて ～患者誤認を中心として～」	医師 GRM 主任放射 線技師 臨床工学 技士 薬剤師 GRM	1875 人 （e ラーニング、DVD 貸し出しを含む）
2024/12/12	研修医	「インシデントレポートからみた医療	医師 GRM	74 人

			安全」		
2025/1/15	新採用看護師	医療安全に関する研修Ⅱ 「リスク感性を高めよう KYT (危険予知 トレーニング)」	看護師 GRM	64 人	
2025/1/31	全職員	「一人ひとりの健康と安心の探求と実現」 をめざして」	学外講師	2240 人 (対面講習、e ラーニ ング、DVD 貸し出し を含む)	

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
<p>・研修の実施状況</p> <p>日本医療機能評価機構が実施する「2024 年度 特定機能病院管理者研修」に管理者 (2024. 12. 9)、医療安全管理責任者 (2024. 11. 26)、医薬品安全管理責任者 (2024. 11. 26)、医療機器安全管理責任者 (2024. 12. 13) が参加し、医療に係る安全管理のため研修を受講した。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
<p>・第三者による評価の受審状況</p> <p>日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、「医療事故等に適切に対応している (A)」の評価をいただいている。</p> <p>・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況</p> <p>改善内容なし</p> <p>・評価を踏まえ講じた措置</p> <p>同上</p>

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 山口大学ホームページに掲載 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
松野 浩嗣	山口大学理事	○		有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
田邊 剛	山口大学医学部長、医学科長			有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
長谷川 俊史	山口大学医学部附属病院副病院長			有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
原田 美佐	山口大学医学部附属病院看護部長			有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
梅本 裕英	前北九州銀行取締役 監査等委員		山口県内の経済事情及び医療等の状況に精通し、経営及び医療について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
大本 理恵	山口銀行執行役員 宇部支店長		山口県内の地域事情及び経済事情に精通し、経営について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
武田 健	山陽小野田市立 山口東京理科大学 学長		宇部・小野田医療圏の医療等の状況に精通し、医療について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>病院の予算及び経営に関する事項，規則の制定及び改廃に関する事項，その他病院の管理運営に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また，会議資料，議事概要を学内ウェブページに掲載し，従業者が閲覧できる環境を設けている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・公表の方法：山口大学ホームページに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
田邊 剛		医師	医学部長
高見 太郎		医師	第一内科長
佐野 元昭		医師	第二内科長
太田 康晴		医師	第三内科長
中森 雅之		医師	脳神経内科長
松永 和人	○	医師	病院長、呼吸器・感染症内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
白石 晃司		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
菅原 一真		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長
杉野 法広		医師	産科婦人科長
石原 秀行		医師	脳神経外科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長

三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
瀬川 誠		医師	漢方診療部長
平野 靖		医師	医療情報部長
渡谷 祐介		医師	医療の質・安全管理部長
枝國 信貴		医師	感染制御部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
藤井 聡美		看護師	看護部長
足立 正博		事務職員	事務部次長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

- ・ 規程の主な内容

病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長7名を配置し、総務、医療の質と安全、DX推進、防災、医療連携（患者支援）、広報、教育、研究、経営・企画、診療、人事・労務、D&I推進、個人情報管理及び看護・患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐5名を配置している。また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。
研修については、勤務環境改善を考えることを目的とした全国医学部長病院長会議等が主催する「トップマネジメント研修（2024.8.27）」に病院長が、同研修（2024.10.10）に中川副病院長が参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>(2) 必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。</p> <p>(3) (1)、(2)に掲げる活動について、その結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
矢賀 健	山陽小野田市民病院	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
佐藤 久典	宇部・山陽小野田総合法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	UBE株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以

					外の者
--	--	--	--	--	-----

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年6回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年6回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
谷澤 幸生	山口大学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
松野 浩嗣	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
進士 正人	山口大学特命理事		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
上西 研	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
葛 崎偉	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
溝部 康雄	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
七村 守	山口大学理事（非常勤）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
原山 優子	山口大学理事（非常勤）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
LOEHR MARC	山口大学副学長（学術基盤・情報化推進担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
石井 由理	山口大学副学長（国際連携担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
松永 和人	山口大学医学部附属病院長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
鍋山 祥子	山口大学副学長（ダイバーシティ推進担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
佐藤 晃一	山口大学副学長（研究推進担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
今村 孝子	山口県医師会顧問 山口県公安委員長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
岩崎 史哲	株式会社トクヤマ取締役／専務執行役員／研究開発本部長 兼 ライフサイエンス部門長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
岩田 幸雄	山口放送株式会社相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
川上 康男	株式会社長府製作所代表取締役会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
木村 晃一	大晃ホールディングス株式会社代表取締役社長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
齋藤 宗房	山口トヨタ自動車株式会社代表		有・ <input checked="" type="checkbox"/>

	取締役社長 テレビ山口株式会社代表取締役 会長		
桜井 博志	旭酒造株式会社会長		有・無
末永 久大	弁護士法人末永法律事務所弁護士		有・無
田子 みどり	株式会社コスモピア特別顧問		有・無
平屋 隆之	山口県副知事		有・無
丸山 洋司	公立学校共済組合理事長		有・無
椋梨 敬介	株式会社山口フィナンシャルグル ープ代表取締役社長CEO		有・無
山本 佳世子	国立大学法人東京科学大学理事		有・無
山本 謙	UBE株式会社取締役		有・無
吉武 博通	学校法人東京家政学院理事長 筑波大学名誉教授		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)
・ 通報件数 (年〇件)
・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無)
・ 周知の方法
① 山口大学ホームページ
② 職員ハンドブックに掲載
③ 医療安全講習会による周知
④ メールを利用した Web アンケート回答後の解説による周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 HP，SNS，広報誌等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	